

ヒヤリ・ハット調査  
「乳幼児の寝ているときの危険」  
調査報告書

平成 30 年 10 月

東京都生活文化局

## 目 次

I. 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査手法	3
3. 集計・分析にあたって	4
4. 自由記述のカテゴリ分類について	5
II. 調査結果	6
1. 回答者の基本情報	6
(1) 居住地	6
(2) 性別	6
(3) 年代	7
(4) 子供の人数	7
(5) 子供の性別・年齢	8
2. 乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）	9
(1) 危害及びヒヤリ・ハット経験の有無	9
3. ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験	16
(1) ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	16
(2) 「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験	19
(3) 「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験	21
(4) 「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験	23
(5) 詳細事例	25
4. リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験	27
(1) リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	27
(2) 「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験	30
(3) 「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験	32
(4) 「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験	34
(5) 詳細事例	36
5. 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験	38
(1) 移動時で危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	38
(2) 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験	41
(3) 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験	43
(4) 「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験	45
(5) 詳細事例	47
6. 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験	49
(1) 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	49
(2) 「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験	52

(3) 「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験.....	54
(4) 「ソファ（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験.....	56
(5) 詳細事例.....	58
7. その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験.....	60
(1) その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験.....	60
(2) 詳細事例.....	62
III. まとめ.....	63
IV. アンケート調査票.....	64

## I. 調査概要

---

### 1. 調査の目的

この調査は、乳幼児（0歳児から就学前の6歳）における「寝ているとき」に関する危険の実態を把握するため、家庭内の日常生活に関わる製品・場所について危害及びヒヤリ・ハット経験の事例等を収集することを目的に実施した。

### 2. 調査対象及び調査手法

#### (1) 調査対象者

東京都及び埼玉県、千葉県、神奈川県に在住の6ヶ月以上～就学前の乳幼児と同居する保護者

※調査は主に東京都在住者を対象として実施し、不足する部分について埼玉県、千葉県、神奈川県在住者にて補完した。

#### (2) 回答者数

3,000人

#### (3) 調査実施方法

インターネットアンケート

#### (4) 調査期間

平成30年1月26日～2月7日

#### (5) 調査項目

ア 乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験（※）の実態

イ 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度

ウ 危害及びヒヤリ・ハット経験の詳細（製品等、年齢、事例）

※乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験

本報告書において「危害」とは、けが、やけど等の外傷及び誤飲、窒息等による体調不良を示す。「ヒヤリ・ハット」とは、上記のような危害には至らなかったが、けがや体調不良を引き起こしそうになったことを示す。

本調査では、乳幼児が経験した次の5つの場所等における危害及びヒヤリ・ハット経験について調査を行った。本報告書における「寝ているとき」とは、眠っているときのほか、ベッド・布団回り、寝具等、乳幼児を寝かせて使用する製品に関する事例を含む。

① ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験

② リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験

③ 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験

④ 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験

⑤ その他での危害及びヒヤリ・ハット経験

### 3. 集計・分析にあたって

- ・回答比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入して算出した。そのため、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。ただし、小数点以下第二位を四捨五入すると「0」となってしまう要素がある場合、小数点以下第三位を四捨五入して算出している。
- ・複数回答(MA)設問の場合、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・グラフに表記されている「N=\*」「n=\*」(\*は数字)は、対象の母数を表している。なお、Nはグラフ全体の母数、nは各項目の母数を表す。
- ・グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票上の文言と一致していない場合がある。(アンケート調査票上の文言については、「IV アンケート調査票」を参照。)
- ・“危害経験がある”という表現は、乳幼児が「ベッド・布団回り、寝具等」「リビング等の居室」「移動時」「外出先」「その他」で寝ているときに、「けがをして入院した」「けがをして病院へ行った」「けがをしたが病院へは行かなかった」との回答を示すものであり、“ヒヤリ・ハット経験がある”は、乳幼児が寝ているときに「けがをしそうになった」との回答を示す。なお、アンケートの設問、回答における「けが」には外傷に加えて体調不良等も含むものとする。
- ・事例及び製品等のカテゴリについては、出現率の高いカテゴリについて扱い、以降のカテゴリはまとめて「その他」として扱う。ただし、各場所等の概要編における「製品等別」に危害およびヒヤリ・ハットの程度をまとめた図においては、出現数が1件以下の製品を「その他」としてまとめている。
- ・2(5)で述べた①から⑤の各場所等における回答は、複数の子供にそれぞれ危害及びヒヤリ・ハット経験がある場合、最も印象的だった事例一つについての回答となっている。

#### 4. 自由記述のカテゴリ分類について

##### 【全体】

- ・自由記述回答をカテゴリに分類する際は、原則として回答者の自己申告を採用した。

##### 【事例カテゴリについて】

- ・転落した後に他の危害にあっている場合も、「転落」として分類した。ただし、ベッドガードなど柵等に登った、などの記述が見られる場合は「柵等を乗り越えた」としている。

##### 【製品等カテゴリについて】

- ・原則として、乳幼児が寝ているときに使用していた製品を採用している。ただし、「ベッド」などの寝具等及び「おむつ交換台」に関わる場合、乳幼児が起きているときの経験を含む。
- ・各製品は主に利用される場所等ごとに分類して集計をしているが、自由記述内から他の場所で使用されていることが明らかな場合、カッコをつけて他の製品として集計している。  
(例：ホテル等の大人用ベッドについては、「大人用ベッド」ではなく「大人用ベッド(外出先)」として分類している。)
- ・複数の製品を組み合わせて使用していた場合は、原則として直接の原因になった製品を採用した。
- ・製品の一部部品のみ回答されていた場合、製品全体としてカテゴリ化した(例：「テーブルの柱」は「テーブル」として分類した)。
- ・「転落」の事例については、転落元となった製品を採用した(例：ベッドから転落した場合は「ベッド」に分類した)。
- ・「ぶつけた」等の事例については、乳幼児がぶつかった製品等を採用した。ただし、移動時に生じた危害及びヒヤリ・ハットの場合は、その時使用していた乗り物等を採用している。また、出現数が1~2件にとどまった製品に関わっている場合は、回答者の自己申告を採用した。
- ・特定の製品を使用中でなく、保護者が寝ている乳幼児を抱いているとき等に生じた事例については、「抱っこ中」として分類している。

## II. 調査結果

### 1. 回答者の基本情報

#### (1) 居住地

居住地は「東京都」が52.1%、次いで、「神奈川県」が20.2%、「埼玉県」が14.9%、「千葉県」が12.9%となっている。

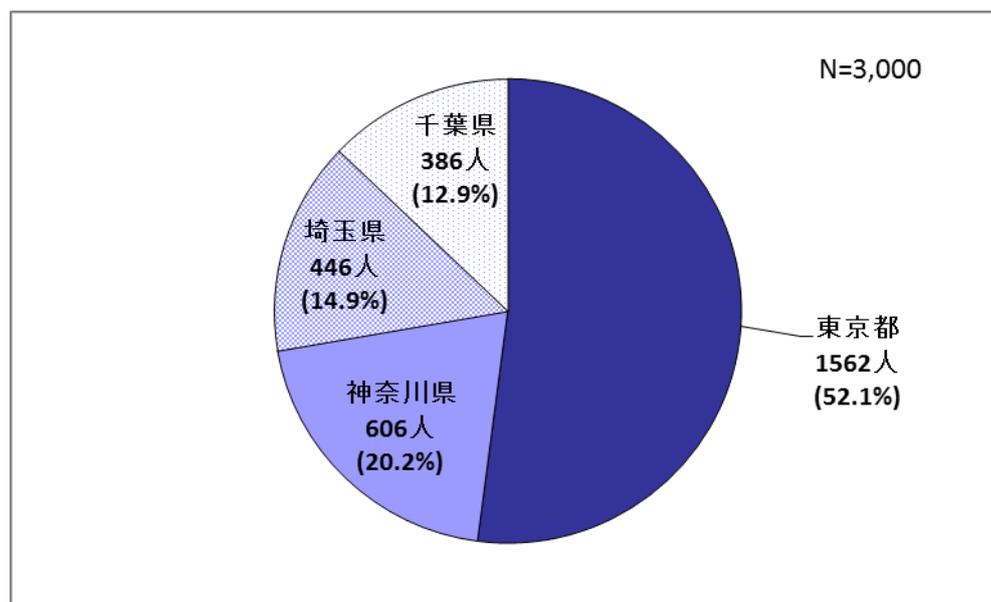


図 1\_1. 居住地

#### (2) 性別

性別は、「男性」34.8%、「女性」65.2%となっている。

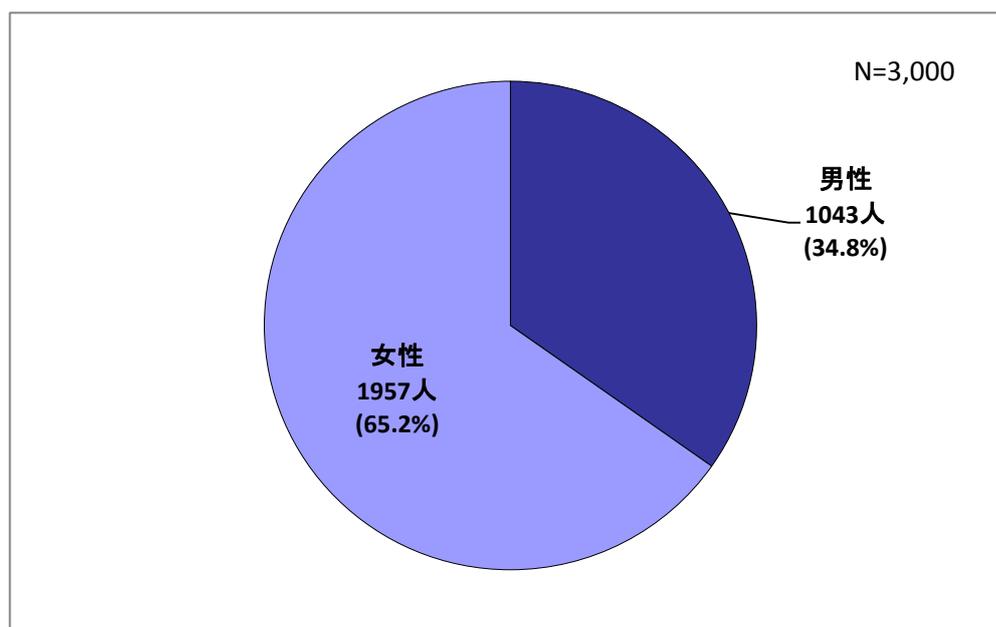


図 1\_2. 性別

(3) 年代

年代は「20代」7.9%、「30代」55.3%、「40代」34.2%、「50代」2.6%となっている。

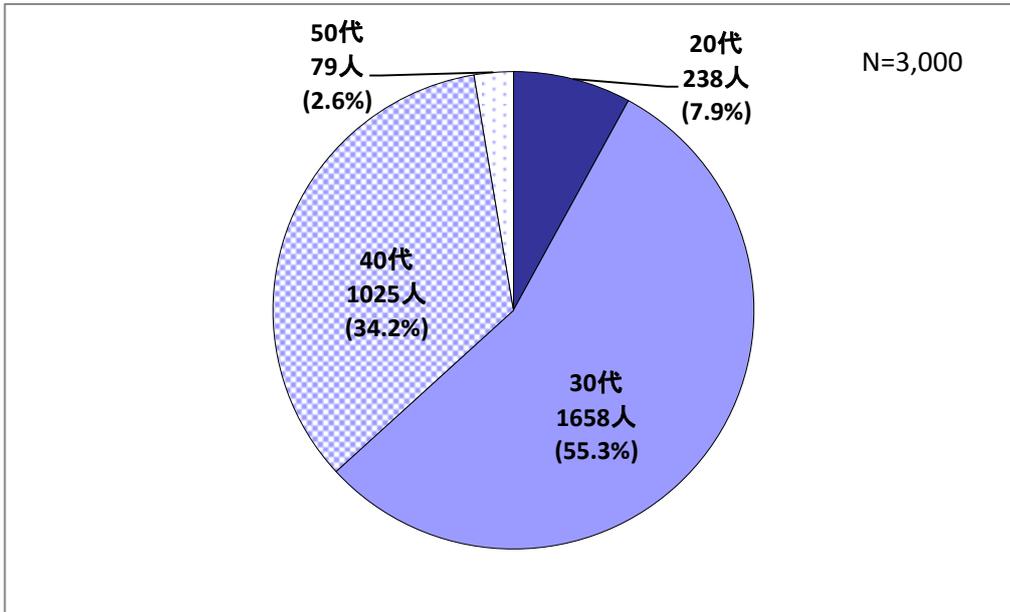


図 1\_3. 年代

(4) 子供の人数

子供の人数は、「1人」42.9%、「2人」43.6%、「3人」11.5%、「4人以上」2.0%となっている。

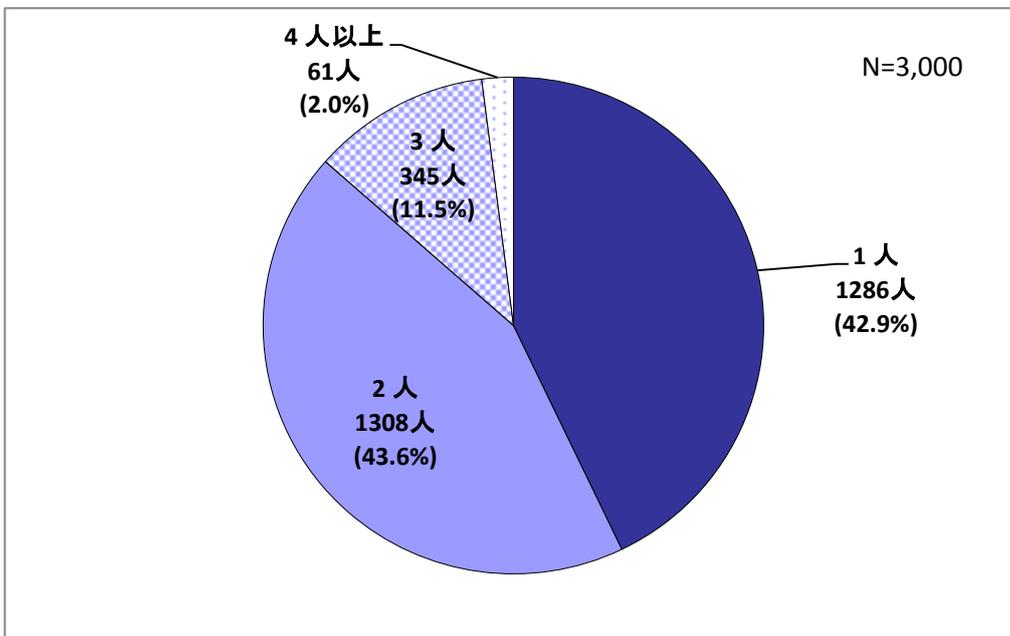


図 1\_4. 子供の人数

(5) 子供の性別・年齢

回答者の子供（複数回答）の性別・年齢の割合を下図に示す。「小学生以上」が35.0%で最も多く、次いで「3歳」が21.1%、「6歳（就学前）」が20.1%となっている。

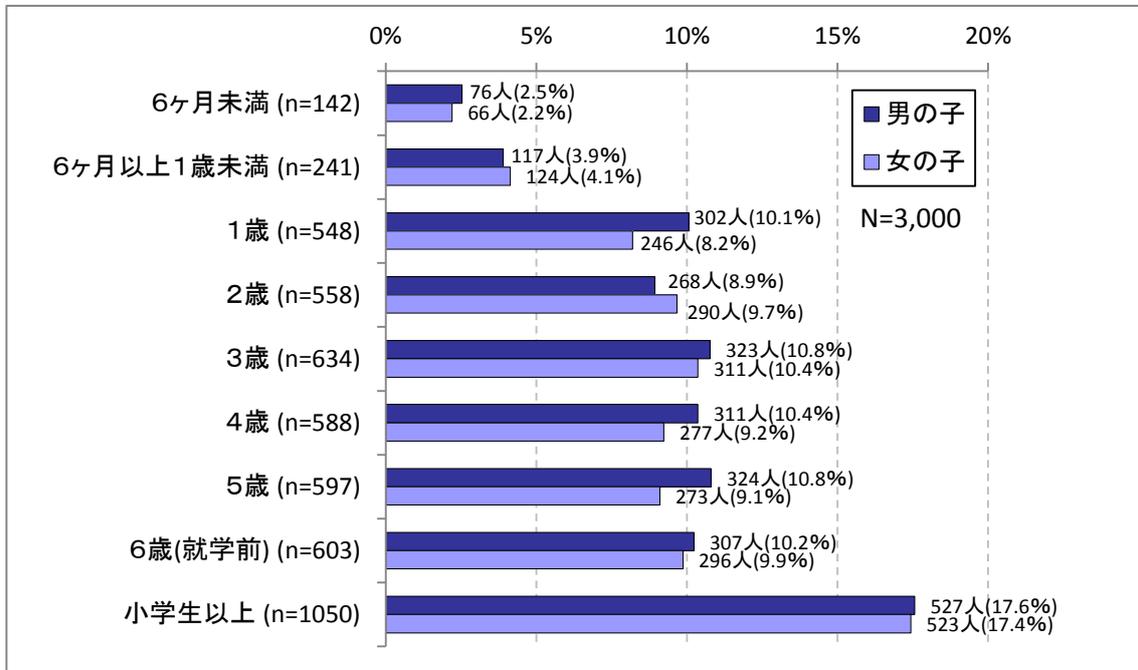


図 1\_5. 子供の性別・年齢

## 2. 乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）

### （1）危害及びヒヤリ・ハット経験の有無

図 2\_1 は「乳幼児の寝ているとき」の危害及びヒヤリ・ハット経験について、5つの場所等全体での経験割合を示している。何らかの危害及びヒヤリ・ハット経験者（「危害経験がある」＋「ヒヤリ・ハット経験がある」）は1,316人（43.9%）で、40%を超えた。そのうち、危害経験がある乳幼児は273人（9.1%）となっている。

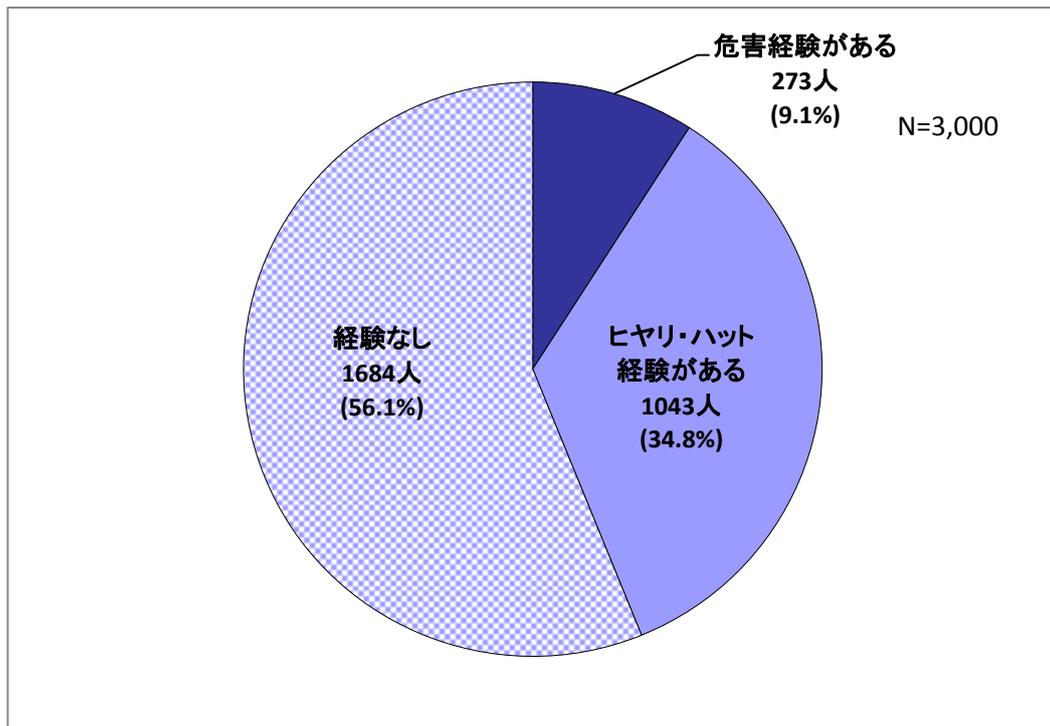


図 2\_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（全体）

[注 1] 回答者が複数の危害及びヒヤリ・ハットを経験している場合は、より危害程度の高い方を計算対象とする（例：「ベッド、布団回り・寝具等」で「けがをして入院した」経験があり、「移動時」に「けがをしそうになった」と回答している場合、「危害経験がある」として計算する。）。

図 2\_2 は本調査で収集した危害及びヒヤリ・ハット経験を、起きた場所等別に分類し、それぞれの経験者数を示している。

「ベッド、布団回り・寝具等」は危害及びヒヤリ・ハット経験者が3,000人中853人(28.4%)と最も多く、次いで「リビング等の居室」が720人(24.0%)、「外出先」が291人(9.7%)、「移動時」が217人(7.2%)と続く。

「危害経験がある」の回答が最も多かったのは「ベッド、布団回り・寝具等」で、161人(5.4%)であった。

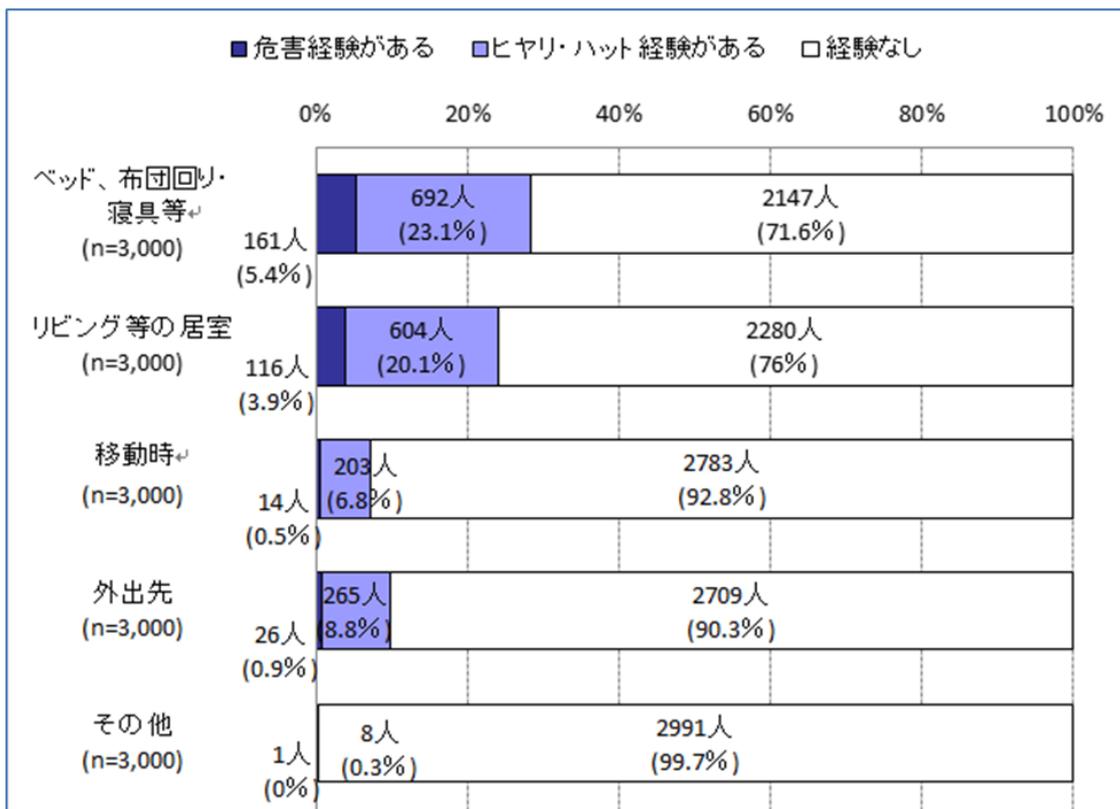


図 2\_2. 危害及びヒヤリ・ハット経験（場所等別）

図 2\_3 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、性・年齢別の事例数を示している。本調査では延べ 2,090 件の事例が得られたが、そのうち、男の子が 1,157 件と、女の子の 933 件を上回った。

年齢別に見ると、0 歳から徐々に発生件数は減少している。男の子、女の子ともに 0 歳の事例が最も多く、男の子 0 歳は 505 件、女の子 0 歳は 417 件となっている。

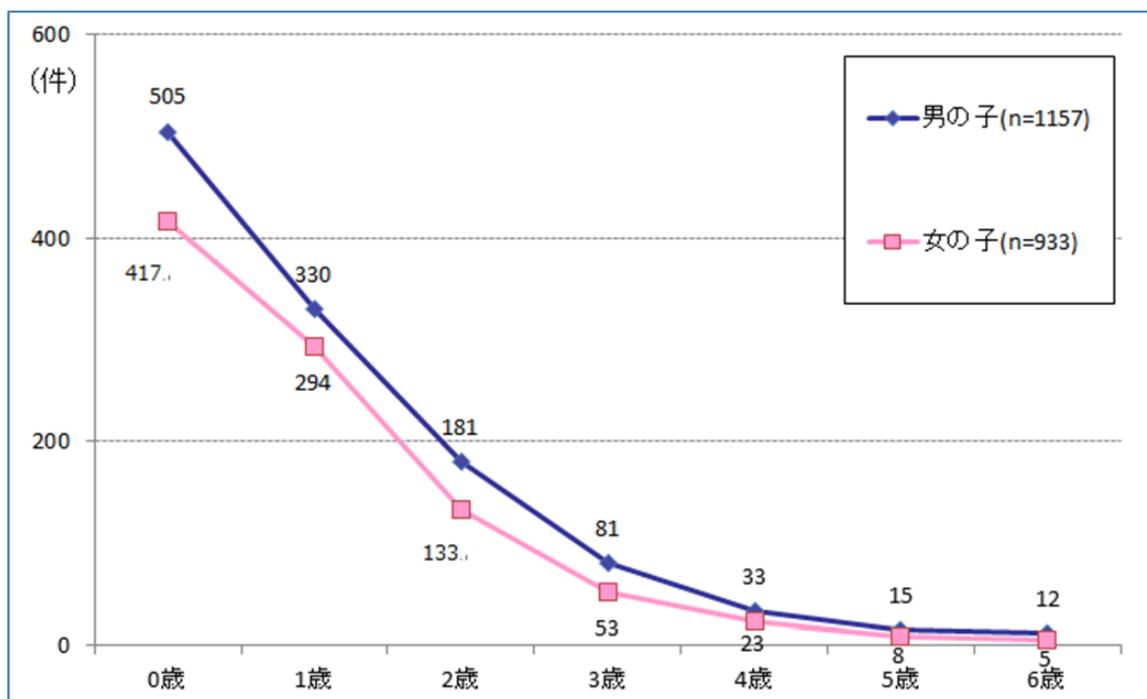


図 2\_3. 危害及びヒヤリ・ハット事例数（子供の性・年齢別）

表 2\_1、表 2\_2 は、性別ごとにそれぞれの年齢で回答された事例の上位 3 位までを下記に示す。男の子・女の子ともに、「転落」が最も多くなっている。「窒息・呼吸の妨げ」は、特に 0 歳で多く見られる。

**表 2\_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（男の子・年齢別）**

【男の子合計】			【男の子 0 歳】			【男の子 1 歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	転落	760	1	転落	337	1	転落	226
2	窒息・呼吸の妨げ	80	2	窒息・呼吸の妨げ	55	2	柵等を乗り越えた	22
3	ぶつけた	72	3	柵等を乗り越えた	18	3	ぶつけた	17
			3	はさまった	18			
	事例総数	1157		事例総数	505		事例総数	330

【男の子 2 歳】			【男の子 3 歳】			【男の子 4 歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	転落	107	1	転落	53	1	転落	21
2	ぶつけた	33	2	ぶつけた	10	2	バランスを崩した	3
3	窒息・呼吸の妨げ	8	3	バランスを崩した	4	3	やけど	2
						3	頭が揺れた	2
	事例総数	181		事例総数	81		事例総数	33

【男の子 5 歳】			【男の子 6 歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件
1	転落	8	1	転落	8
2	窒息・呼吸の妨げ	2	2	熱がこもった・ 大汗をかいた	2
3	ぶつけた	1	3	ぶつけた	1
3	柵等を乗り越えた	1	3	柵等を乗り越えた	1
	事例総数	15		事例総数	12

※同位の場合は、全体での出現率が高い事例カテゴリを優先して表記した。

表 2.2. 危害及びヒヤリ・ハット経験（女の子・年齢別）

【女の子合計】

順位	事例	件
1	転落	589
2	窒息・呼吸の妨げ	79
3	ぶつけた	61
	事例総数	933

【女の子0歳】

順位	事例	件
1	転落	265
2	窒息・呼吸の妨げ	55
3	柵等を乗り越えた	26
	事例総数	417

【女の子1歳】

順位	事例	件
1	転落	193
2	ぶつけた	22
3	柵等を乗り越えた	20
	事例総数	294

【女の子2歳】

順位	事例	件
1	転落	81
2	ぶつけた	17
3	柵等を乗り越えた	6
	事例総数	133

【女の子3歳】

順位	事例	件
1	転落	32
2	ぶつけた	5
3	バランスを崩した	4
	事例総数	53

【女の子4歳】

順位	事例	件
1	転落	13
2	製品ごと転落・転倒	3
3	ぶつけた	2
3	やけど	2
	事例総数	23

【女の子5歳】

順位	事例	件
1	転落	3
2	ぶつけた	1
2	バランスを崩した	1
2	やけど	1
	事例総数	8

【女の子6歳】

順位	事例	件
1	転落	2
2	窒息・呼吸の妨げ	1
2	ぶつけた	1
2	やけど	1
	事例総数	5

※同位の場合は、全体での出現率が高い事例カテゴリを優先して表記した。

図 2\_4 は、危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に件数をまとめた結果である。「転落」が 1,349 件と最も多く、「危害経験がある」との回答も 225 件となっている。

転落以外では、「窒息・呼吸の妨げ」が 159 件、「ぶつけた」が 133 件となっている。

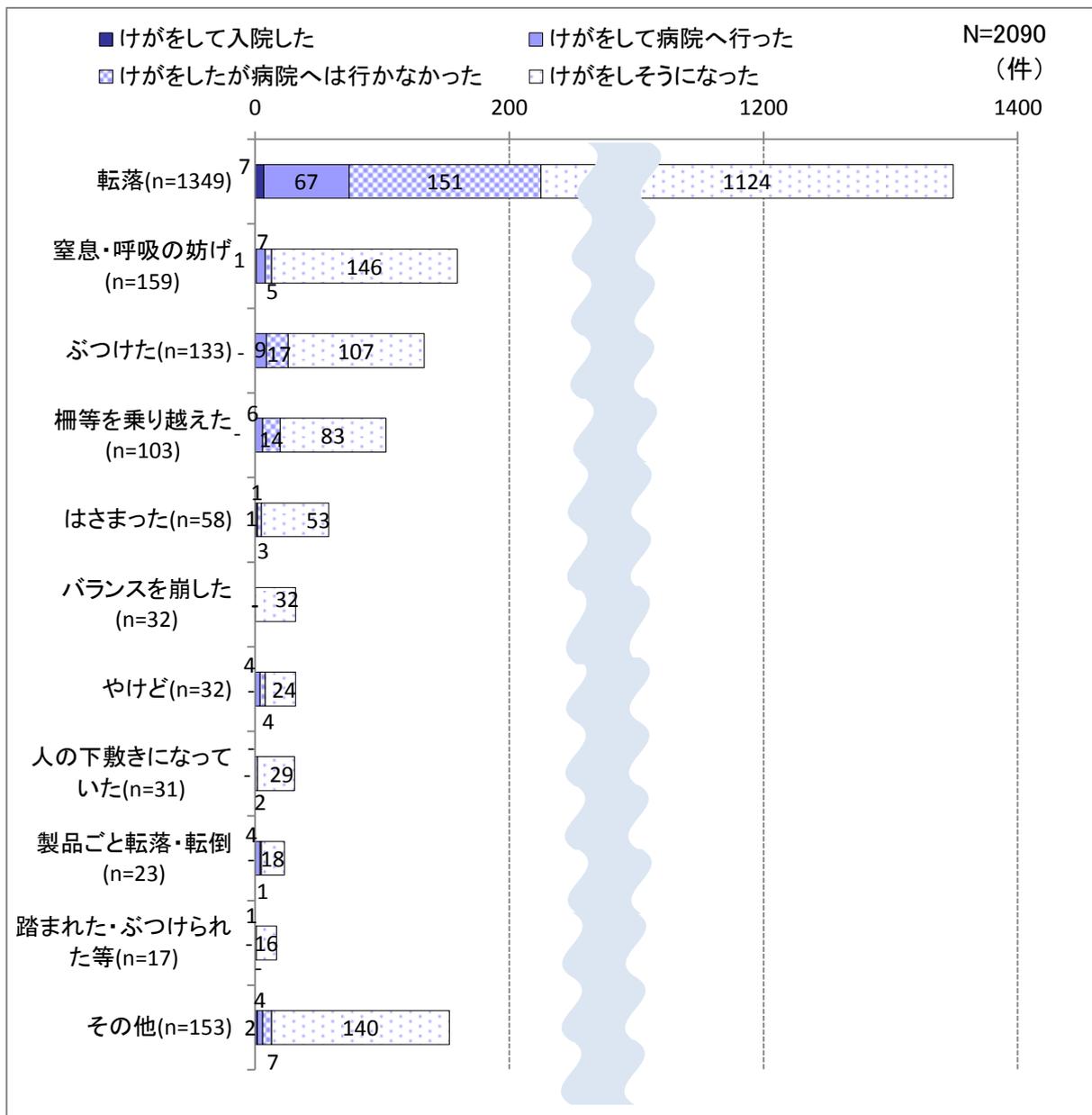


図 2\_4. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

[注] 出現率上位 10 カテゴリの事例について計算しており、出現率 11 位以降の事例カテゴリは「その他」にまとめている。

図 2\_5 は、危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、子供の性・年齢別に件数をまとめた結果である。“危害経験がある”は、「男の子0歳」が73件と最も多く、次いで「男の子1歳」が59件、「女の子0歳」が55件となっている。

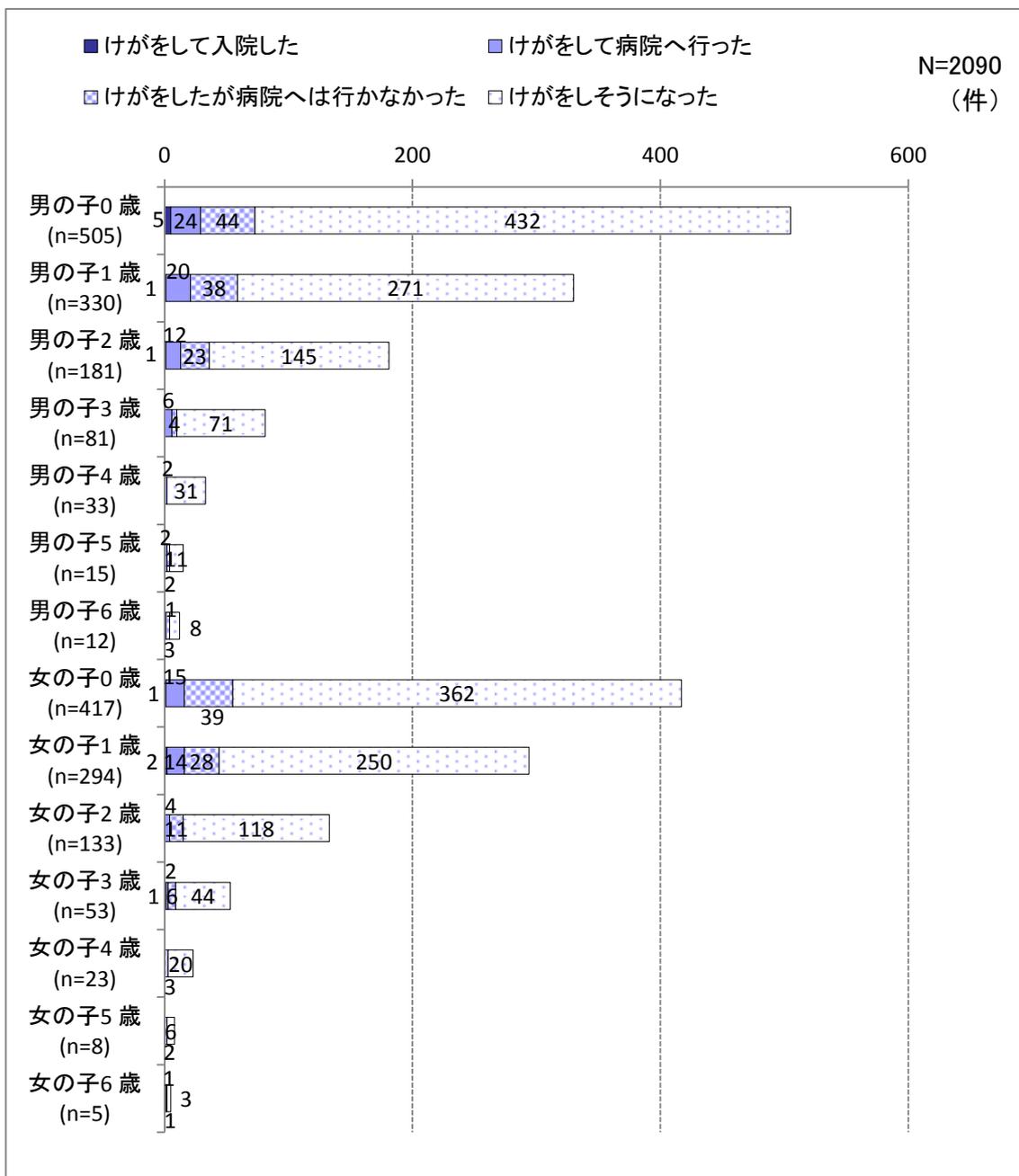


図 2\_5. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（子供の性・年齢別）

### 3. ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験

#### (1) ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)

図 3\_1 はベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、その原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 853 人 (28.4%) であった。製品等別で見ると、「大人用ベッド」が 396 人 (46.4%) と最も多く、次いで、「ベビーベッド」219 人 (25.7%)、「掛け布団・毛布類」が 64 人 (7.5%) と続く。

“危害経験がある”との回答は、「大人用ベッド」が 90 人と最も多く、次いで「ベビーベッド」49 人、「布団」5 人と続く。

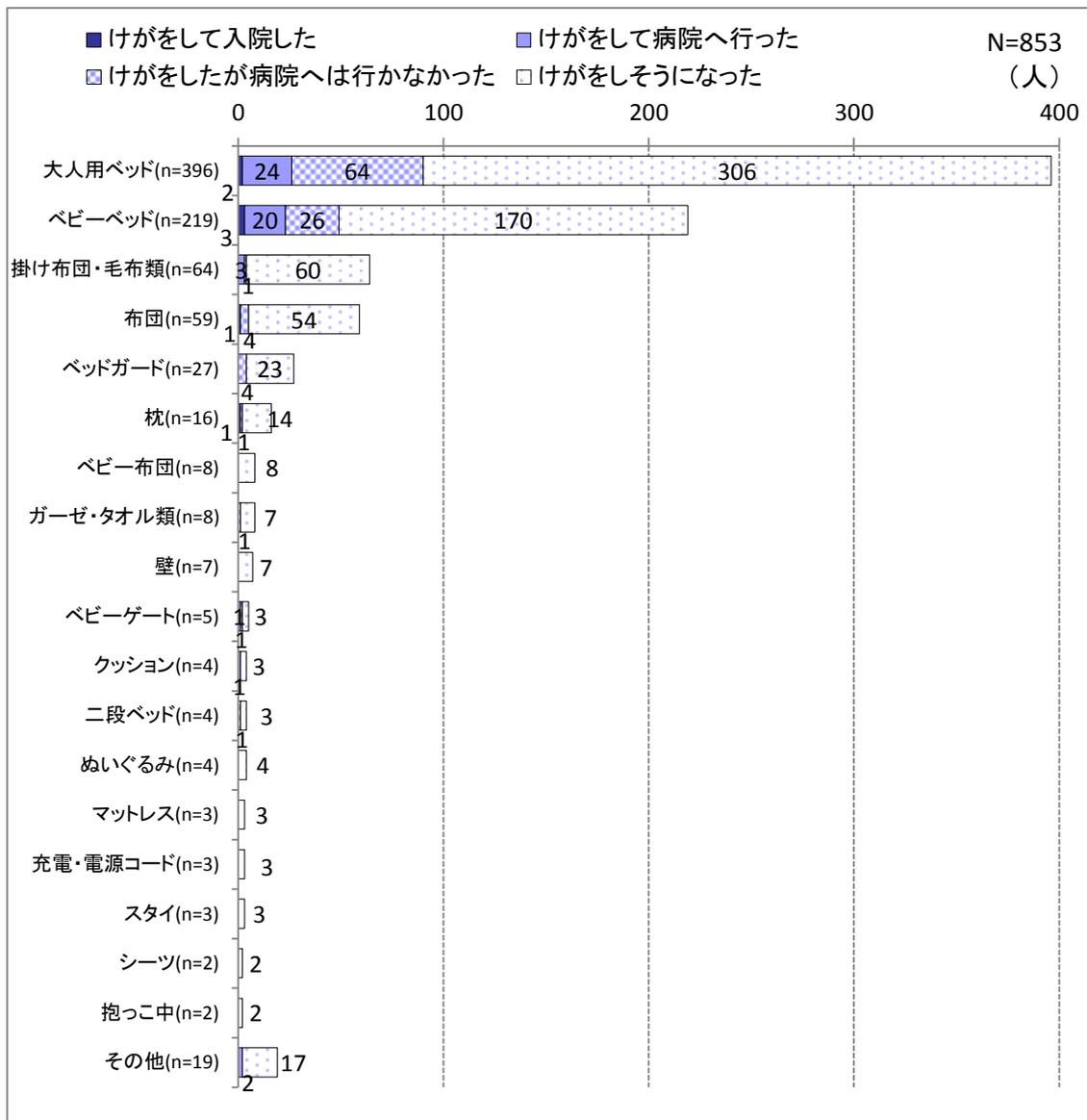


図 3\_1. ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品等別)

表 3\_1\_1 はベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 853 人のうち「転落」の事例が 472 人（55.3%）と最も多く、次いで「窒息・呼吸の妨げ」が 140 人（16.4%）、「柵等を乗り越えた」103 人（12.1%）と続く。

「転落」に関わる製品・場所としては「大人用ベッド」が 369 人で最も多い。「窒息・呼吸の妨げ」では「掛け布団・毛布類」が 62 人となっている他、布団や枕、ガーゼ・タオル類による事例が見られた。「柵等を乗り越えた」については、「ベビーベッド」が 94 人と、最も多くなっている。

表 3\_1\_1. ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品等別）  
(人)

	全体	転落	窒息・呼吸の妨げ	柵等を乗り越えた	はさまった	なっていた 人の下敷きに	ぶつけた	ぶつけられた等 踏まれた・ 倒れてきた	物が落ちてきた・	添い乳による圧迫	その他
全体	853	472	140	103	44	30	22	9	6	6	21
大人用ベッド	396	369	6	4	1	5	6	2	-	2	1
ベビーベッド	219	84	10	94	17	-	8	-	-	-	6
掛け布団・毛布類	64	-	62	-	-	-	-	2	-	-	-
布団	59	7	18	-	2	20	1	4	-	1	6
ベッドガード	27	4	1	3	19	-	-	-	-	-	-
枕	16	-	15	-	-	-	-	-	-	-	1
ベビー布団	8	-	4	-	1	-	1	1	-	-	1
ガーゼ・タオル類	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
壁	7	1	-	-	4	-	2	-	-	-	-
ベビーゲート	5	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-
その他	44	7	16	1	-	5	1	-	5	3	6

※この表における「その他」は、図 3\_1 の「クッション」から「その他」までのものである。

表 3\_1\_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品等を比較した結果である。全体として、男の子の事例が 464 人と、女の子の 389 人と比べ、70 人以上多くなっている。

「大人用ベッド」の事例は、男の子が 219 人、女の子が 177 人と最も多い。年齢別に見てみると、男の子・女の子ともに 0 歳・1 歳が特に多くなっている。

3 番目に多い事例である「掛け布団・毛布類」については、男の子・女の子ともに、0 歳が多く、3 歳以上ではほとんど見られない。

**表 3\_1\_2. ベッド・布団回り、寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(製品等×子供の性・年齢別)**

(人)

	全体	大人用ベッド	ベビーベッド	掛け布団・毛布類	布団	ベッドガード	枕	ベビー布団	ガーゼ・タオル類	壁	ベビーゲート	その他	
全体	853	396	219	64	59	27	16	8	8	7	5	44	
子供の性別・年齢	男の子合計	464	219	121	33	38	19	5	2	2	3	3	19
	男の子 0 歳	247	109	60	26	26	8	4	2	1	-	1	10
	男の子 1 歳	126	61	42	3	8	8	1	-	-	-	1	2
	男の子 2 歳	53	23	15	3	2	2	-	-	1	3	1	3
	男の子 3 歳	16	11	2	-	1	1	-	-	-	-	-	1
	男の子 4 歳	8	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	男の子 5 歳	6	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 6 歳	8	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	女の子合計	389	177	98	31	21	8	11	6	6	4	2	25
	女の子 0 歳	209	74	61	25	9	4	9	5	5	2	-	15
	女の子 1 歳	115	61	28	6	9	1	1	-	1	2	-	6
	女の子 2 歳	41	23	7	-	2	3	-	-	-	-	2	4
	女の子 3 歳	14	13	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女の子 4 歳	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 5 歳	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
女の子 6 歳	3	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

※この表における「その他」は、図 3-1 の「クッション」から「その他」までのものである。

(2) 「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3\_2 では、「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、ベッド・布団回り・寝具等における経験者 853 人のうち、396 人であった。事例別に見ると「転落」が 369 人と最も多く、それ以外の事例は 10 人以下となっている。

“危害経験がある”との回答は、「転落」では 84 人、「ぶつけた」では 3 人となっている。

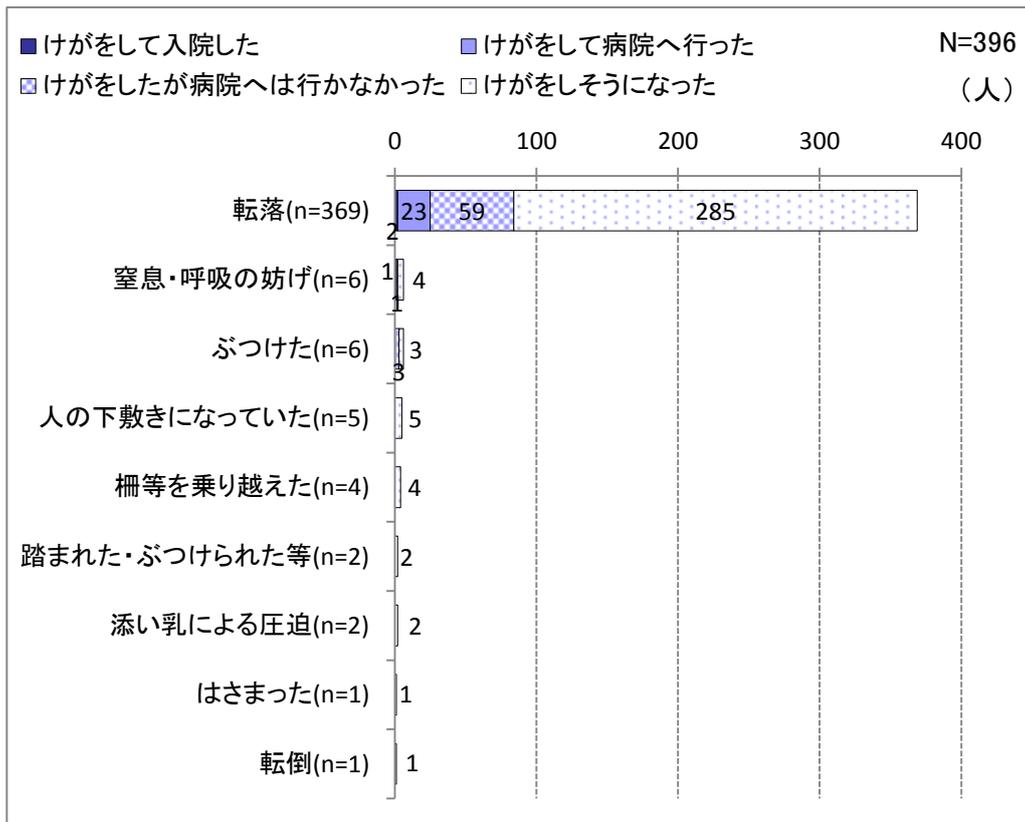


図 3\_2. 「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 3\_2 は、「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、0歳での事例が最も多く、男の子 109 人、女の子は 74 人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「転落」が全体の 9 割を占める。また、年齢が上がるほど少なくなる傾向が見られる。

**表 3\_2. 「大人用ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	転 落	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	ぶ つ け た	人 の 下 敷 き に な っ て い た	柵 等 を 乗 り 越 え た	ぶ つ け ら れ た 等 踏 ま れ た ・	添 い 乳 に よ る 圧 迫	は さ ま つ た	転 倒
全	体	396	369	6	6	5	4	2	2	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	219	207	5	4	1	1	1	-	-	-
	男の子 0 歳	109	103	2	1	1	1	1	-	-	-
	男の子 1 歳	61	59	1	1	-	-	-	-	-	-
	男の子 2 歳	23	20	1	2	-	-	-	-	-	-
	男の子 3 歳	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 4 歳	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 6 歳	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	177	162	1	2	4	3	1	2	1	1
	女の子 0 歳	74	67	1	-	3	-	1	2	-	-
	女の子 1 歳	61	54	-	2	-	3	-	-	1	1
	女の子 2 歳	23	22	-	-	1	-	-	-	-	-
	女の子 3 歳	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 4 歳	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子 5 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
女の子 6 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3\_3 は、「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験はベッド・布団回り、寝具等における経験者 853 人のうち、219 人であった。事例別に見ると「柵等乗り越えた」が 94 人と最も多く、次いで「転落」が 84 人、「はさまった」が 17 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」では 24 人、「柵等乗り越えた」では 19 人となっている。

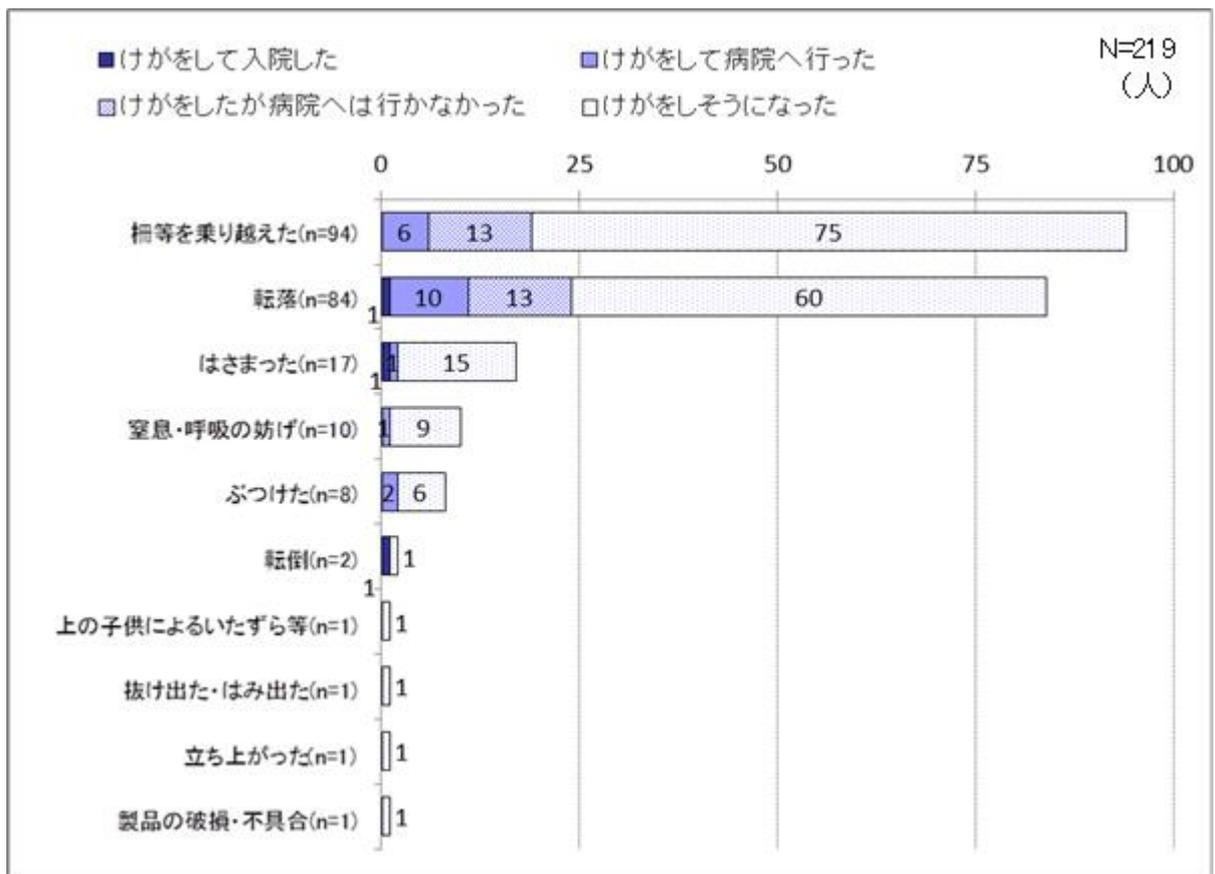


図 3\_3. 「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3\_3 は、「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、0歳での事例が最も多く、男の子 60 人、女の子は 61 人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「柵等を乗り越えた」が一番多く、次いで「転落」が続く。年齢が上がるにしたがい、人数も低下する傾向が見られる。

**表 3\_3. 「ベビーベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験**  
(事例×子供の性・年齢別)

(人)

		全 体	柵 等 を 乗 り 越 え た	転 落	は さ ま つ た	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	ぶ つ け た	転 倒	上 の 子 供 に よ る いた ず ら 等	抜 け 出 た ・ は み 出 た	立 ち 上 が つ た	製 品 の 破 損 ・ 不 具 合
全 体		219	94	84	17	10	8	2	1	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	121	47	46	12	7	5	2	-	-	1	1
	男の子 0 歳	60	17	27	7	6	1	2	-	-	-	-
	男の子 1 歳	42	20	14	4	1	1	-	-	-	1	1
	男の子 2 歳	15	6	5	1	-	3	-	-	-	-	-
	男の子 3 歳	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 6 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	98	47	38	5	3	3	-	1	1	-	-
	女の子 0 歳	61	24	29	3	3	1	-	1	-	-	-
	女の子 1 歳	28	17	8	-	-	2	-	-	1	-	-
	女の子 2 歳	7	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 3 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 4 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 5 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 6 歳	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3\_4 では、「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験はベッド・布団回り、寝具等における経験者 853 人のうち、64 人であった。事例別に見ると「窒息・呼吸の妨げ」が 62 人と最も多い。

“危害経験がある”との回答は、「窒息・呼吸の妨げ」では 4 人見られた。

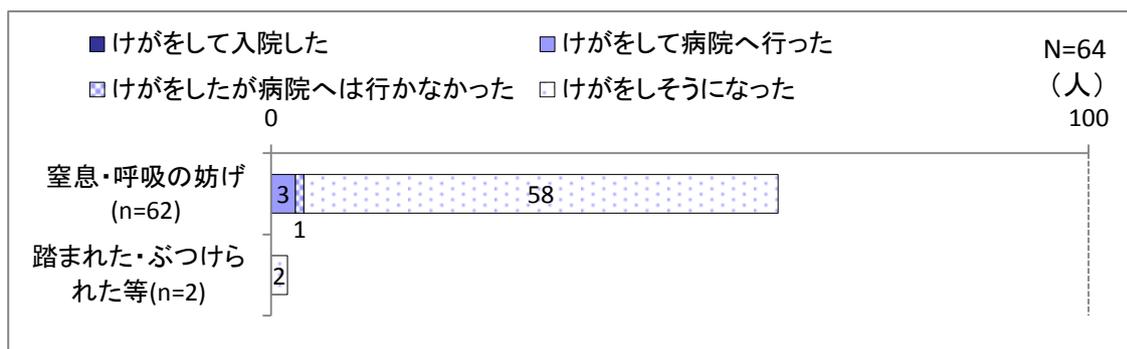


図 3\_4. 「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3\_4 は、「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、0 歳での事例が最も多く、男の子 0 歳で 26 人、女の子 0 歳で 25 人となっている。

表 3\_4. 「掛け布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)

(人)

		全 体	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	ぶ つ け ら れ た 等  踏 ま れ た ・
全 体		64	62	2
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	33	32	1
	男の子 0 歳	26	25	1
	男の子 1 歳	3	3	-
	男の子 2 歳	3	3	-
	男の子 3 歳	-	-	-
	男の子 4 歳	-	-	-
	男の子 5 歳	1	1	-
	男の子 6 歳	-	-	-
	女の子合計	31	30	1
	女の子 0 歳	25	24	1
	女の子 1 歳	6	6	-
	女の子 2 歳	-	-	-
	女の子 3 歳	-	-	-
	女の子 4 歳	-	-	-
	女の子 5 歳	-	-	-
女の子 6 歳	-	-	-	

(5) 詳細事例

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
1	大人用ベッド	転落	男の子0歳	子供が寝返りを打ったときに頭から床に落ちてしまった。床が柔らかいじゅうたんだから良かったが、フローリングだったらと思うとゾットした。
2	大人用ベッド	転落	女の子0歳	少しの時間なら大丈夫だと思い大人用ベッドに寝かせたら、寝返りを打ちベッドから落ちた。
3	大人用ベッド	転落	女の子0歳	トイレに行っている間に起きてしまい、寝返りしてベッドから落ちてしまった。
4	大人用ベッド	転落	女の子0歳	ハイハイができるようになった頃に、大人用ダブルベッドで寝ていたが、2～3分目を離れたときにベッドから落下した。幸い大きなケガはなかった。
5	大人用ベッド	転落	男の子1歳	親子3人で川の字で寝ていたが、気づいたら子供が足元の方に転がっていて、ベッドから落ちる寸前の位置で寝ていた。
6	大人用ベッド	転落	男の子1歳	ベッドの側面にベッドガードをつけていたが、下部にはベッドガードがなかったため、そこから落下した。
7	大人用ベッド	転落	女の子1歳	大人のベッド2台分の広さに一人で寝かせていたら、寝ながら転がって落ち、顎をきった。
8	大人用ベッド	転落	女の子1歳	大人用ベッドの側面をベビーベッドでカバーしていたら、ベビーベッドと大人用ベッドの間に挟まって落ち、背中や肩などを打って大泣きしていた。普段は川の字で寝ていたが、その時は私も夫も起きていて、そばにいない間に寝返りを打って落ちてしまいとても焦った。
9	大人用ベッド	ぶつけた	男の子2歳	大人用ベッドの上で枕元で座って寝ていたときに、頭がぐらついてベッドのヘッドボードに頭をぶつけた。
10	大人用ベッド	人の下敷きになっていた	女の子0歳	お父さんと一緒に寝ているときに、お父さんが寝返りをして、子供が下敷きになり大泣きして起きた。
11	大人用ベッド	添い乳による圧迫	女の子0歳	添い寝しながら授乳していたら、自分がうとうとしてしまい、気がつくと子供の顔に覆い被さりそうになっていた。
12	ベビーベッド	柵等を乗り越えた	男の子1歳	子供がつかまり立ちの頃、目を離したときにベビーベッドの柵に足をかけ乗り越えようとした。
13	ベビーベッド	転落	女の子0歳	まだ寝返りをしないので、ベビーベッドの柵を下げたまま寝かせていたら落ちてしまった。
14	ベビーベッド	転落	男の子1歳	おむつを替えようとして寝かせていた。目を離したときに、ベッドから落ちそうになった。
15	ベビーベッド	転落	男の子1歳	大人のベッドとつけるため柵を外していたが、ベッド間に隙間ができてしまい、そこに子供が落ちていた。夜中泣いて起きたので気づいた。
16	ベビーベッド	はさまった	男の子0歳	就寝中に柵の間に足が入ってしまい、危うくけがをすることだった。

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
17	掛け布団・毛布類	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	添い寝していたら、いつの間にか毛布が子供の顔の方まで掛かっていて、息苦しそうにし、顔が赤くなっていた。
18	掛け布団・毛布類	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	寝ているときに動くので、掛け布団がグチャグチャになり、掛け布団に顔を突っ込む姿勢で眠っていた。普段よりも長時間眠っていたので窒息してしまったのかと焦った。
19	布団	人の下敷きになっていた	男の子0歳	隣同士で布団に寝かせていたら、寝返りで子供を潰しそうになっていた。
20	布団	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	子供が布団で寝返りしてうつぶせになっていた。自分ではあおむけに戻れないので、気づかなかつたら、と思いヒヤリとした。
21	布団	踏まれた・ぶつけられた等	男の子0歳	床に布団を敷いて寝かせていたら上の子に踏まれそうになった。
22	布団	熱がこもった・大汗をかいた	男の子1歳	夫が寝かしつけている最中に子供と一緒に眠ってしまい、子供が布団の中に潜り込んだままで汗をびしょりかいていた。
23	ベッドガード	はさまった	男の子1歳	寝ているときに、ベッドとベッドガードの間に挟まって動けなくなってしまった。
24	枕	上の子供によるいたずら等	男の子0歳	布団で寝かせていたら、上の子が枕を顔の上に置いた。すぐに気づいたが長時間気づかなかつたら窒息の危険があった。
25	ガーゼ・タオル類	窒息・呼吸の妨げ	男の子2歳	枕に巻いていたバスタオルを顔近くにもったまま寝てしまい、首にバスタオルが巻き付いて窒息しそうになった。
26	クッション	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	大人がベッドで使っているビーズクッションに子供が顔を埋めてしまい、苦しそうにしていた。
27	ぬいぐるみ	窒息・呼吸の妨げ	女の子0歳	ぬいぐるみが顔にかぶさって窒息しそうになった。
28	充電・電源コード	窒息・呼吸の妨げ	男の子4歳	プラグから伸びているコードが子供の首に絡まりそうになっていた。事前に気づいて撤去したが、寝ているときによく動くのでいつか絡まると思った。
29	抱っこ中	抱っこ中に落としてしまった	男の子0歳	授乳していたときに私がうとうとしてしまい、膝の上から転がり落ちた。布団の上だったので大事には至らなかったが、新生児だったので焦った。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

#### 4. リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験

##### (1) リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)

図 4\_1 はリビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、その原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 720 人 (24.0%) であった。製品・場所別で見ると、「ソファ」が 500 人 (69.4%) と最も多く、次いで、「子供用椅子」35 人 (4.9%)、「テーブル」が 28 人 (3.9%) と続く。

“危害経験がある”との回答は、「ソファ」が 76 人と最も多く、次いで「子供用椅子」10 人と続く。

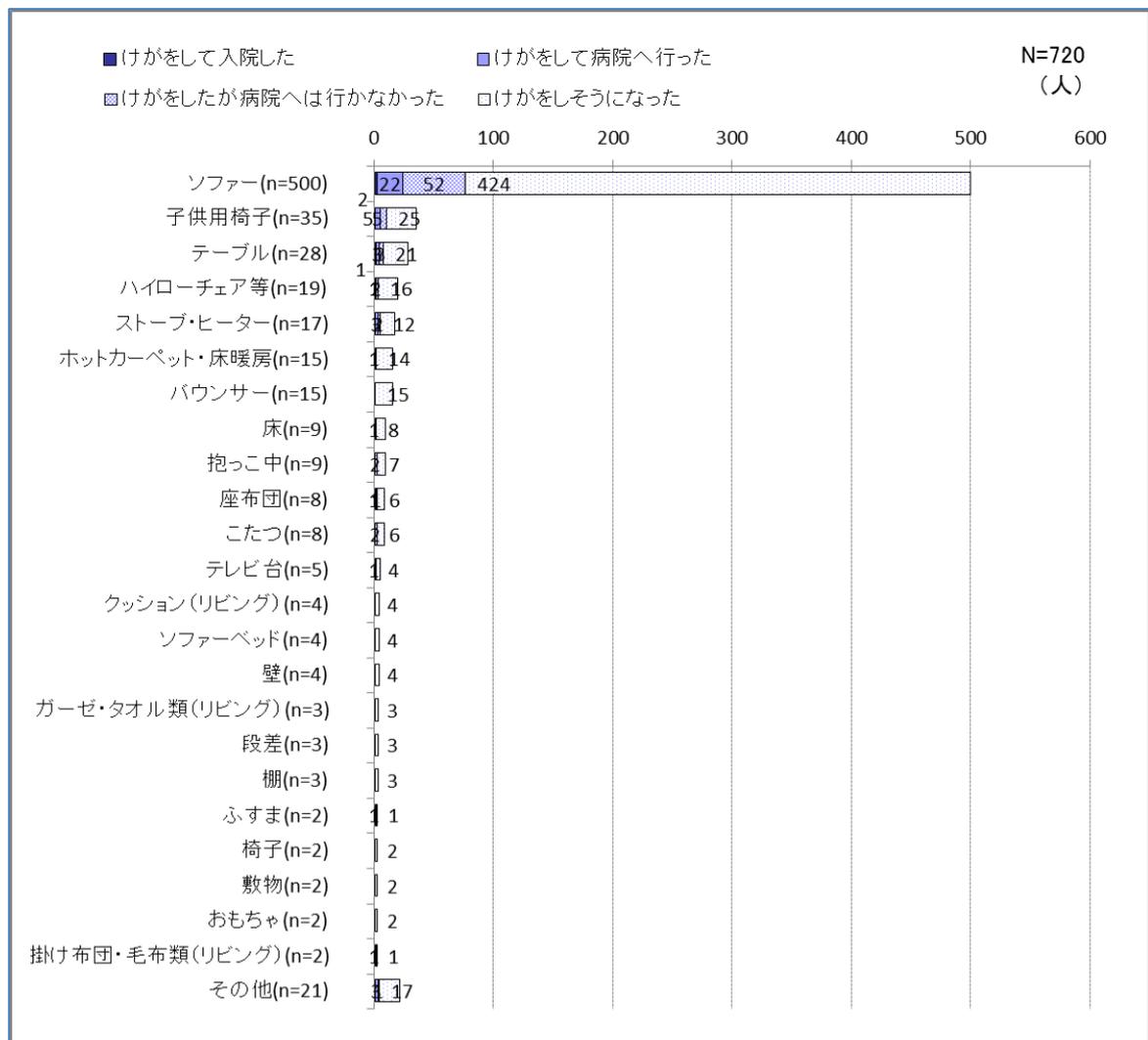


図 4\_1. リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハットの程度(製品等別)

表 4\_1\_1 はリビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

リビング等の居室では経験者数 720 人のうち「転落」の事例が 568 人 (78.9%) と最も多く、次いで「ぶつけた」が 34 人 (4.7%)、「やけど」30 人 (4.2%) と続く。

「転落」に関わる製品・場所としては「ソファー」が 487 人で最も多い。「ぶつけた」では「テーブル」が 18 人となっている。「やけど」については、「ストーブ・ヒーター」が 14 人、「ホットカーペット・床暖房」が 11 人となっている。

表 4\_1\_1. リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験 (事例×製品等別)

(人)

	全 体	転 落	ぶ つ け た	や け ど	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	上 の 子 供 に よ る い た ず ら 等	倒 れ て き た 物 が 落 ち て き た ・	落 と し て し ま っ た	抱 っ こ 中 に	思 わ ぬ 所 に 移 動	熱 が こ も っ た ・ 大 汗 を か い た	そ の 他
全 体	720	568	34	30	13	12	11	9	9	10	24	
ソファー	500	487	1	-	3	1	-	-	5	-	3	
子供用椅子	35	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
テーブル	28	10	18	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハイローチェア 等	19	14	-	-	-	1	-	-	-	-	4	
ストーブ・ヒーター	17	-	-	14	-	-	1	-	-	2	-	
ホットカーペッ ト・床暖房	15	-	-	11	-	-	-	-	-	4	-	
バウンサー	15	7	-	-	1	3	-	-	-	-	4	
床	9	1	2	-	-	-	-	-	1	-	5	
抱っこ中	9	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	
座布団	8	4	-	-	1	3	-	-	-	-	-	
その他	65	11	13	4	8	4	10	-	3	4	8	

※この表における「その他」は、図 4\_1 の「こたつ」から「その他」までのものである。

表 4\_1\_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品等を比較した結果である。全体として、男の子の事例が 407 人と、女の子の 313 人と比べ、多くなっている。

「ソファ」の事例は、男の子が 290 人、女の子が 210 人と最も多い。年齢別に見てみると、男の子・女の子ともに 0 歳が最も多く、4 歳以降は 10 人未満となっている。

**表 4\_1\_2. リビング等の居室での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(製品等×子供の性・年齢別)**

(人)

	全体	ソファ	子供用椅子	テーブル	ハイローチェア等	ストーブ・ヒーター	ホットカーペット・ 床暖房	バウンサー	床	抱っこ中	座布団	その他	
全体	720	500	35	28	19	17	15	15	9	9	8	65	
子供の性別・年齢	男の子合計	407	290	18	13	12	10	7	8	6	5	4	34
	男の子 0 歳	192	142	1	4	9	3	2	4	3	4	2	18
	男の子 1 歳	116	81	6	6	2	3	2	4	1	1	2	8
	男の子 2 歳	54	37	3	2	1	1	3	-	1	-	-	6
	男の子 3 歳	31	23	5	-	-	1	-	-	1	-	-	1
	男の子 4 歳	8	4	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 6 歳	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女の子合計	313	210	17	15	7	7	8	7	3	4	4	31
	女の子 0 歳	153	111	3	4	4	1	5	3	-	3	3	17
	女の子 1 歳	104	67	7	8	3	2	1	4	3	-	-	9
	女の子 2 歳	29	17	3	1	-	1	1	-	-	1	1	3
	女の子 3 歳	17	12	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	女の子 4 歳	7	3	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
女の子 5 歳	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
女の子 6 歳	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

※この表における「その他」は、図 4-1 の「こたつ」から「その他」までのものである。

(2) 「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4\_2 は、「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験はリビング等の居室における経験者 720 人のうち、500 人であった。事例別に見ると「転落」が 487 人と最も多く、それ以外の事例は 10 人以下となっている。

“危害経験がある”との回答は、「転落」では 74 人となっている。

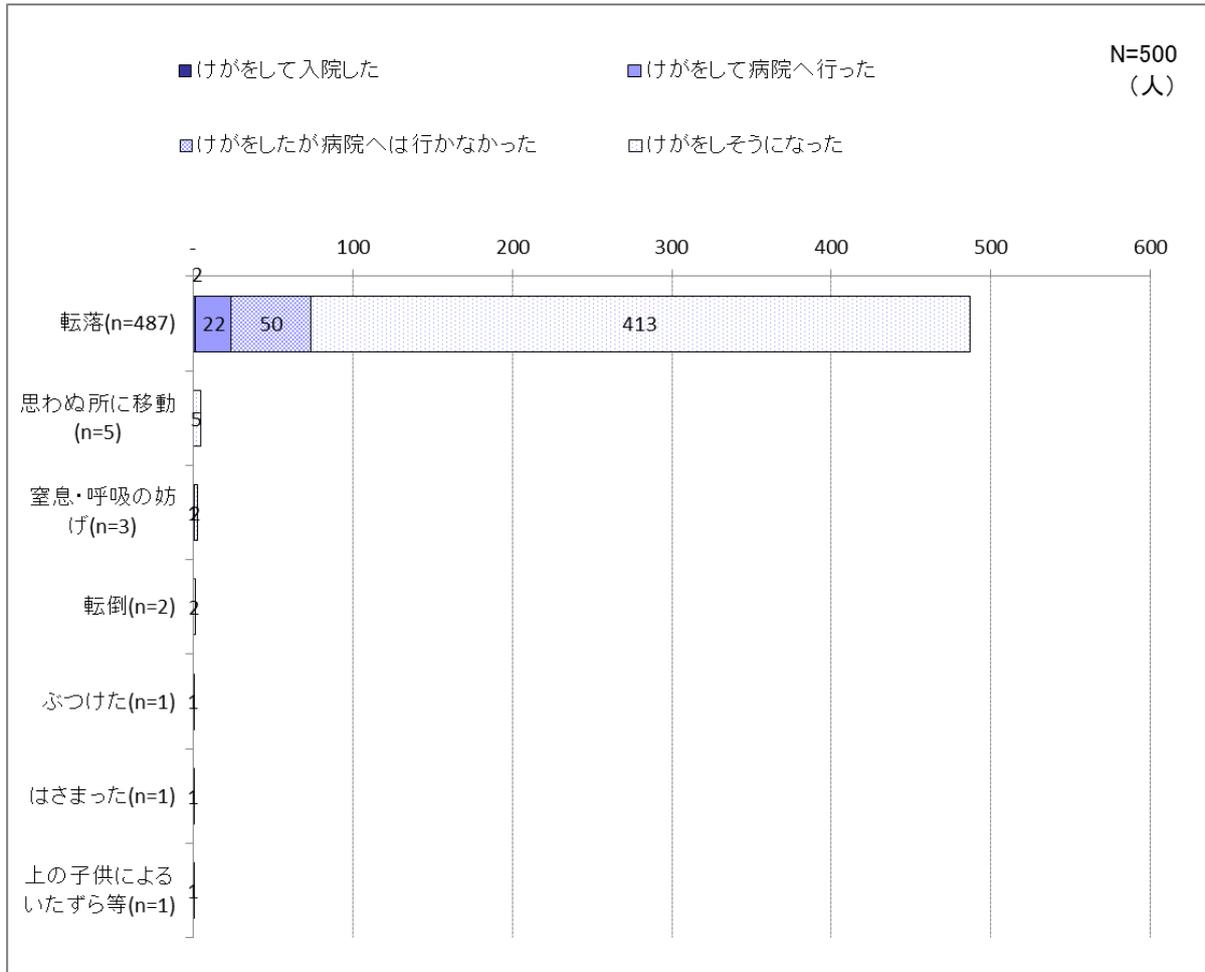


図 4\_2. 「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4\_2 は、「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、0 歳での事例が最も多く、男の子 0 歳で 142 人、女の子 0 歳で 111 人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「転落」が全体の 9 割を占める。年齢が上がるほど少なくなるが、男の子は 5 歳・6 歳でも見られる。

**表 4.2. 「ソファ」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

	全 体	転 落	思 わ ぬ 所 に 移 動	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	転 倒	ぶ つ け た	は さ ま つ た	上 の 子 供 に よ る い た ず ら 等
全 体	500	487	5	3	2	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	290	283	3	2	1	-	1
	男の子 0 歳	142	138	-	2	1	-	1
	男の子 1 歳	81	79	2	-	-	-	-
	男の子 2 歳	37	37	-	-	-	-	-
	男の子 3 歳	23	22	1	-	-	-	-
	男の子 4 歳	4	4	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	2	2	-	-	-	-	-
	男の子 6 歳	1	1	-	-	-	-	-
	女の子合計	210	204	2	1	1	1	-
	女の子 0 歳	111	108	-	1	1	-	-
	女の子 1 歳	67	65	1	-	-	1	-
	女の子 2 歳	17	16	1	-	-	-	-
	女の子 3 歳	12	12	-	-	-	-	-
	女の子 4 歳	3	3	-	-	-	-	-
	女の子 5 歳	-	-	-	-	-	-	-
女の子 6 歳	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4\_3 は、「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験はリビング等の居室における経験者 720 人のうち、35 人であった。事例別に見ると「転落」が 34 人と最も多かった。そのうち、“危害経験がある”との回答は 10 人となっている。

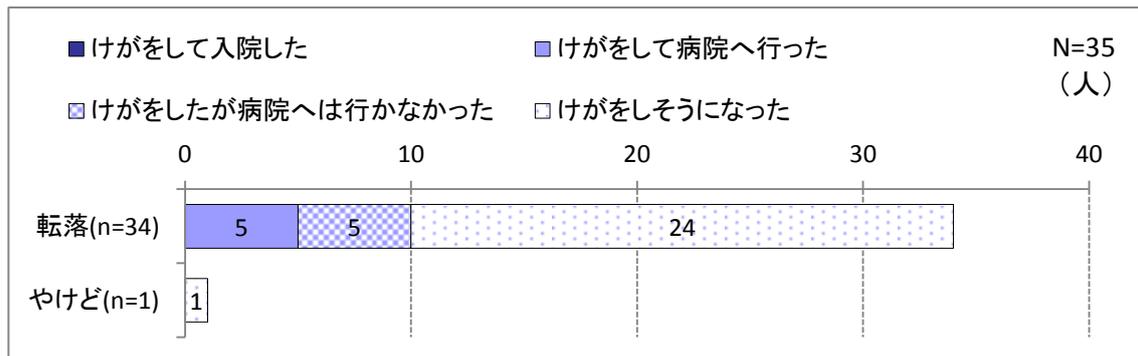


図 4\_3. 「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4\_3 は、「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、1歳での事例が最も多く、男の子の合計は18人、女の子の合計は17人となっている。「やけど」の事例は男の子1歳で1人のみであった。

**表 4\_3. 「子供用椅子」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	転 落	や け ど
全 体		35	34	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	18	17	1
	男の子 0 歳	1	1	-
	男の子 1 歳	6	5	1
	男の子 2 歳	3	3	-
	男の子 3 歳	5	5	-
	男の子 4 歳	1	1	-
	男の子 5 歳	1	1	-
	男の子 6 歳	1	1	-
	女の子合計	17	17	-
	女の子 0 歳	3	3	-
	女の子 1 歳	7	7	-
	女の子 2 歳	3	3	-
	女の子 3 歳	1	1	-
	女の子 4 歳	2	2	-
	女の子 5 歳	1	1	-
女の子 6 歳	-	-	-	

#### (4) 「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図4\_4は、「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験はリビング等の居室における経験者720人のうち、28人であった。事例別に見ると「ぶつけた」が18人と最も多く、次いで「転落」10人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「ぶつけた」では5人、「転落」では2人となっている。

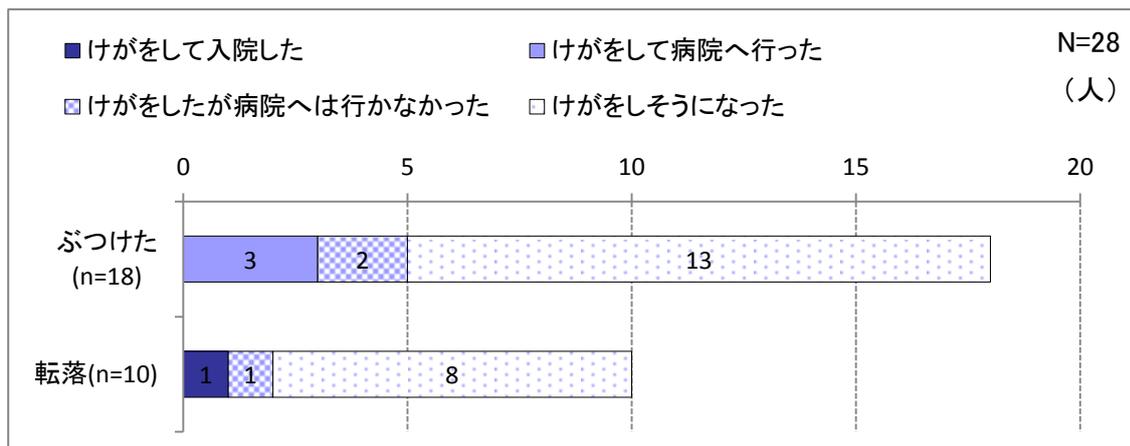


図4\_4. 「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4\_4 は、「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、1歳での事例が最も多く、男の子1歳で6人、女の子1歳は8人となっている。

「ぶつけた」「転落」ともに年齢の増加にともない事例が少なくなっている。

**表 4\_4. 「テーブル」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	ぶ つ け た	転 落
全 体		28	18	10
子供の性別・年齢	男の子合計	13	9	4
	男の子0歳	4	2	2
	男の子1歳	6	5	1
	男の子2歳	2	2	-
	男の子3歳	-	-	-
	男の子4歳	1	-	1
	男の子5歳	-	-	-
	男の子6歳	-	-	-
	女の子合計	15	9	6
	女の子0歳	4	3	1
	女の子1歳	8	4	4
	女の子2歳	1	1	-
	女の子3歳	2	1	1
	女の子4歳	-	-	-
	女の子5歳	-	-	-
	女の子6歳	-	-	-

(5) 詳細事例

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
1	ソファ	転落	男の子0歳	寝返りできないときに、ソファに寝かせていたら落ちてしまった。病院に行ったが、診察前に看護師に様子を見てもらい、大丈夫ではないかと言われ治療はしなかった。
2	ソファ	転落	女の子0歳	寝返りを打てない頃、ソファに寝かせていたら、足でけって移動し落ちそうになっていた。
3	ソファ	転落	女の子1歳	抱っこで寝てしまった娘を、お風呂掃除をしている間だけと思ってソファに寝かせたら、寝返りをうってソファから落ち、たんこぶができてしまった。
4	ソファ	思わぬ所に移動	女の子1歳	リビングの床で寝ている間に別の部屋にいたところ泣き声がして戻ってみるとソファの下に入り込んでいた。
5	ソファ	はさまった	男の子0歳	寝返りができない頃にソファの背もたれ部分の隙間に挟まって動けなくなっていた。
6	ソファ	上の子供によるいたずら等	女の子0歳	本人を寝かせていたら、兄弟が抱っこしようとして支えきれず、ソファから落ちてしまった。ケガはなかったが、身体を床に打ちつけてしまいヒヤリとした。
7	テーブル	ぶつけた	女の子1歳	コロコロ寝ながら移動するので、または寝ぼけてのどが渴いたはずみに移動して、頭がテーブルにぶつかりそうになった。
8	ハイローチェア等	抜け出た・はみ出た	男の子0歳	ハイローラックでベルトをせずに寝かせていて、下にずり落ちそうになっていた。
9	ストーブ・ヒーター	やけど	女の子2歳	寝ながらよくゴロゴロ移動するので気付いたらヒーターに接近していて低温やけどするところだった。
10	ホットカーペット・床暖房	やけど	男の子0歳	寝ていてよほどあつくなつたのか大声で泣き出した。大人には心地良かったが、赤ちゃんにはあつすぎた様で、やけどしなかったかすぐに調べた。
11	ホットカーペット・床暖房	やけど	男の子2歳	自分はずっと子供を寝かせるときにはホットカーペットを切るが、おばあちゃんが子供を寝かせたときに気づいたらホットカーペットが「高」に設定されていて、低温やけどしそうになって驚いた。
12	ホットカーペット・床暖房	熱がこもった・大汗をかい	女の子0歳	ホットカーペットの上で昼寝をさせていたら顔が真っ赤になっていた。
13	バウンサー	上の子供によるいたずら等	男の子0歳	バウンサーを使用中、上の子が面白がって力任せに揺すったため、落ちそうになった。
14	バウンサー	窒息・呼吸の妨げ	女の子1歳	寝ている時に寝返りしてベルトが首の辺りできつくなった。
15	バウンサー	抜け出た・はみ出た	男の子0歳	バウンサーで昼寝をしていて、気づいたら起きて自分で抜け出そうとしていた。
16	床	踏まれた・ぶつけられた等	男の子2歳	床で寝ている子供を踏みそうになった。
17	抱っこ中	抱っこ中に落としてしまった	男の子0歳	ソファの上で、親が横になって、お腹の上に子供を寝かせていた。親も一緒に寝てしまい、子供を支えていた手の力が抜け、子供がソファから落ちた。

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
18	こたつ	熱がこもった・大汗をかいた	女の子2歳	こたつで眠ってしまい、たくさん汗をかいていた。気が付いてすぐに起こしたところ、異常はなかったため病院には行かなかった。
19	クッション(リビング)	人の下敷きになっていた	女の子0歳	少しの間、ビーズクッションに寝かせて家事をしていたら、側で遊んでいた長女が転んで上から落ちてきた。
20	壁	ぶつけた	男の子0歳	寝返りを打って壁に激突した。
21	ガーゼ・タオル類(リビング)	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	リビングで布団を敷いて昼寝させていたら、近くに置いていたガーゼのハンカチが手に届いてしまったようで顔にかかっていた。
22	椅子	踏まれた・ぶつけられた等	女の子1歳	リビングで寝ている間に移動し、椅子のキャスターでひきそうになった。
23	物干しハンガー	物が落ちてきた・倒れてきた	女の子0歳	洗濯物を取り込んでから部屋の隅に洗濯を一時ハンガーごと引っ掛けて置く場所があるのですが、その下に子供が寝ている時に、物干しハンガーを引っ掛けたら、引っ掛かりが悪く、物干しハンガーが落下しました。子供の近くに落ち、ヒヤリとしました。
24	スマートフォン	物が落ちてきた・倒れてきた	男の子0歳	リビングで抱っこで寝かせていたときにスマートフォンを使っていて、手を滑らせ、子供の頭に落としました。
25	机	ぶつけた	男の子2歳	リビングで寝かせていたとき、子供が寝返りを打つのに頭を上げて勢いよく下ろし、机の脚に頭をぶつけた。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すものの以外はアンケート回答のまま掲載した。

## 5. 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験

### (1) 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)

図 5\_1 は移動時の危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、その原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 217 人 (7.2%) であった。製品等別で見ると、「自転車」が 121 人 (55.8%) と最も多く、次いで、「ベビーカー」32 人 (14.7%)、「抱っこひも」が 19 人 (8.8%) と続く。

“危害経験がある”との回答は、「自転車」が 7 人と最も多く、次いで「ベビーカー」3 人と続く。

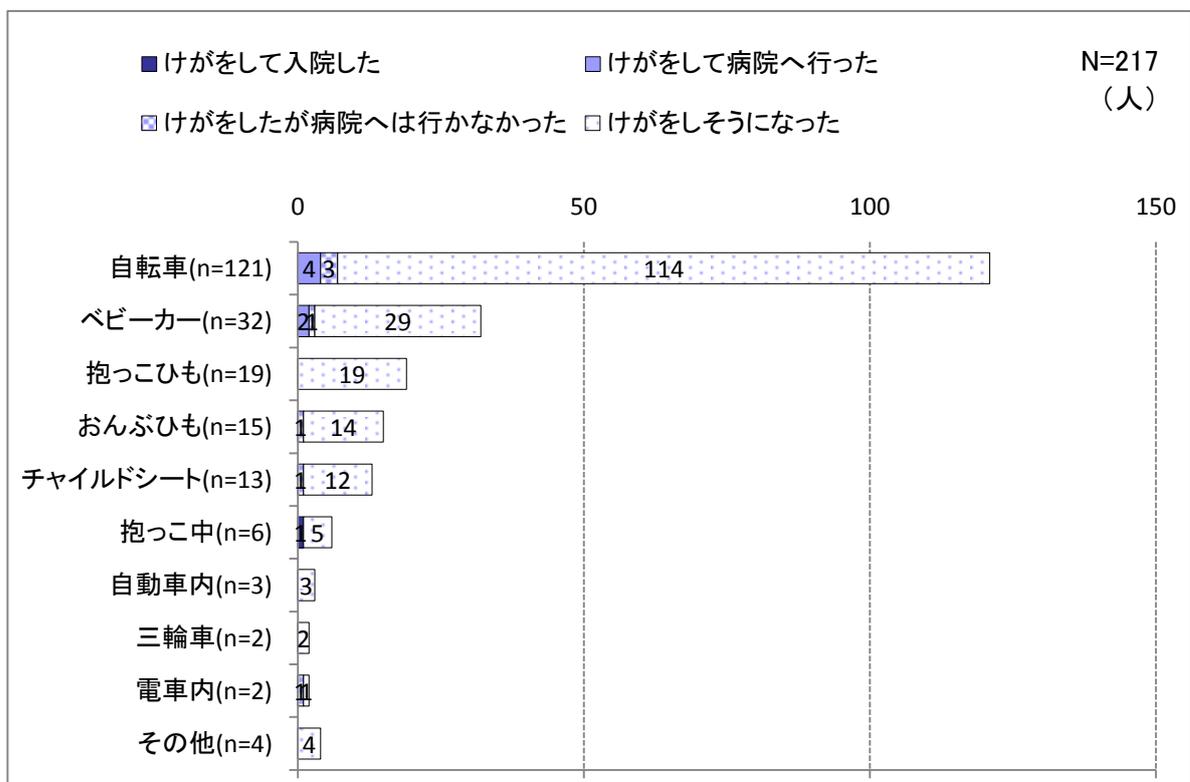


図 5\_1. 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品等別)

表 5\_1\_1 は移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

移動時では経験者数 217 人のうち「転落」の事例が 81 人 (37.3%) と最も多く、次いで「ぶつけた」が 37 人 (17.1%)、「バランスを崩した」32 人 (14.7%) と続く。

各事例に関わる製品等としては「自転車」が最も多い。それぞれ、「転落」では 42 人、「バランスを崩した」では 26 人、「ぶつけた」では 22 人が「自転車」使用時に経験している。

表 5\_1\_1. 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品等別）

(人)

	全 体	転 落	ぶ つ け た	バ ラ ン ス を 崩 し た	製 品 ご と 転 落 ・ 転 倒	頭 が 揺 れ た	抜 け 出 た ・ は み 出 た	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	は さ ま つ た	保 護 者 の 転 倒	落 と し て し ま つ た	抱 っ こ 中 に 絡 ま つ た	引 つ か か つ た ・ 引 つ か か れ た	製 品 の 破 損 ・ 不 具 合	そ の 他
全 体	217	81	37	32	19	10	8	5	4	4	3	3	3	2	9
自転車	121	42	22	26	13	7	4	-	1	-	-	-	1	-	5
ベビーカー	32	15	1	2	6	-	1	1	2	1	-	-	-	2	1
抱っこひも	19	8	1	2	-	1	2	2	-	1	-	-	2	-	0
おんぶひも	15	3	10	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
チャイルドシート	13	3	2	2	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	3
抱っこ中	6	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
自動車内	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三輪車	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電車内	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-

表 5\_1\_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品等を比較した結果である。全体として、男の子の事例が 120 人と、女の子の 97 人と比べ、多くなっている。

「自転車」の事例は、男の子が 66 人、女の子が 55 人となっており、最も多い。年齢別に見てみると、男の子・女の子ともに 2 歳・3 歳が多くなっている。

**表 5\_1\_2. 移動時での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(製品等×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	自 転 車	ベ ビ ー カ ー	抱 っ こ ひ も	お ん ぶ ひ も	チ ヤ イ ル ド シ ー ト	抱 っ こ 中	自 動 車 内	三 輪 車	電 車 内	そ の 他
全 体		217	121	32	19	15	13	6	3	2	2	4
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	120	66	16	12	10	8	5	-	-	1	2
	男の子 0 歳	22	-	3	10	6	2	1	-	-	-	-
	男の子 1 歳	25	10	10	2	2	1	-	-	-	-	-
	男の子 2 歳	35	24	1	-	2	2	4	-	-	1	1
	男の子 3 歳	19	16	2	-	-	1	-	-	-	-	-
	男の子 4 歳	15	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男の子 6 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	97	55	16	7	5	5	1	3	2	1	2
	女の子 0 歳	14	1	3	3	4	1	1	1	-	-	-
	女の子 1 歳	23	11	6	3	1	1	-	-	1	-	-
	女の子 2 歳	29	15	5	1	-	3	-	1	1	1	2
	女の子 3 歳	18	15	2	-	-	-	-	1	-	-	-
	女の子 4 歳	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子 5 歳	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子 6 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5\_2 は、「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験は移動時における経験者 217 人のうち、121 人であった。事例別に見ると「転落」が 42 人と最も多く、次いで「バランスを崩した」26 人、「ぶつけた」22 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」、「バランスを崩した」では見られないが、「製品ごと転落・転倒」では 4 人、「ぶつけた」では 3 人となっている。

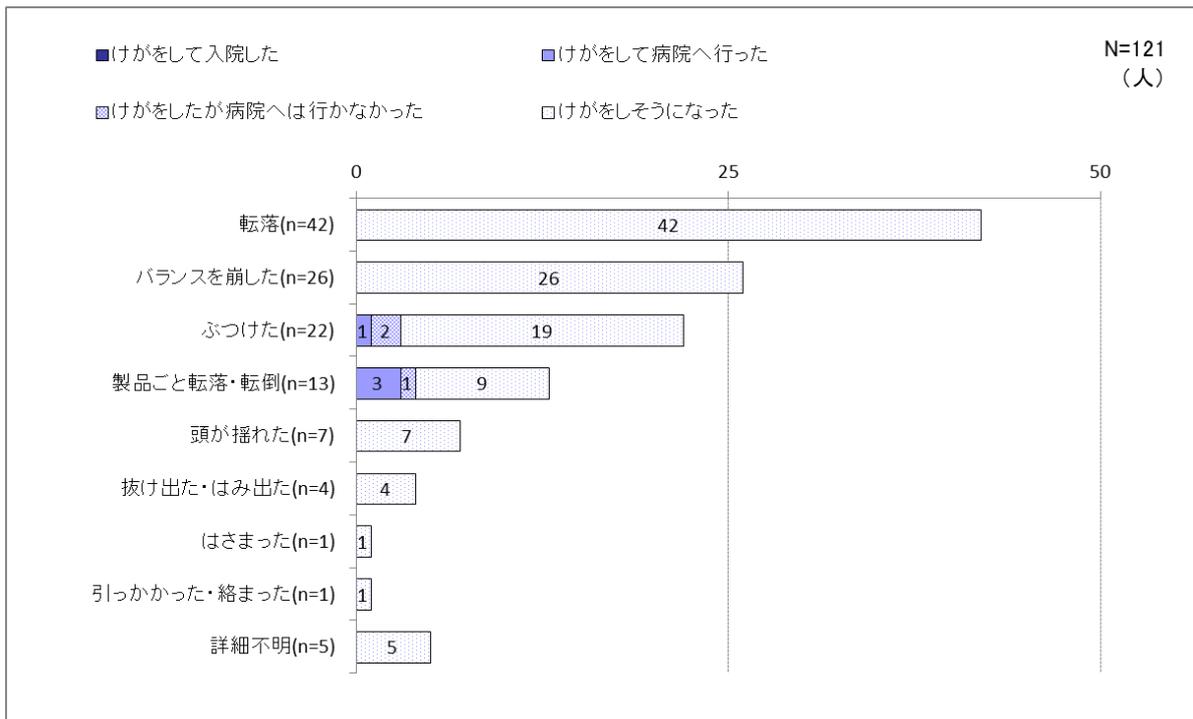


図 5\_2. 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 5\_2 は、「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、2歳・3歳での事例が多く、男の子2歳は24人、女の子2歳・3歳は15人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「転落」が最も多く、男の子は29人、女の子は13人となっている。男の子・女の子ともに、1歳～4歳で事例が見られる。

**表 5\_2. 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全体	転落	バランスを崩した	ぶつけた	転倒 製品ごと転落・	頭が揺れた	抜け出た・はみ出た	はさまった	引っかかった・絡まった	詳細不明
全 体		121	42	26	22	13	7	4	1	1	5
子供の性別・年齢	男の子合計	66	29	15	10	3	3	3	-	1	2
	男の子0歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子1歳	10	5	3	-	1	-	1	-	-	-
	男の子2歳	24	12	4	5	1	1	-	-	1	-
	男の子3歳	16	6	4	3	-	1	1	-	-	1
	男の子4歳	13	6	3	1	-	1	1	-	-	1
	男の子5歳	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男の子6歳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	55	13	11	12	10	4	1	1	-	3
	女の子0歳	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女の子1歳	11	3	3	-	3	1	-	1	-	-
	女の子2歳	15	6	2	4	1	1	-	-	-	1
	女の子3歳	15	1	4	4	3	-	1	-	-	2
	女の子4歳	10	3	1	2	3	1	-	-	-	-
	女の子5歳	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-
女の子6歳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

(3) 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5\_3 は、「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験は移動時における経験者 217 人のうち、32 人であった。事例別に見ると「転落」が 15 人と最も多く、次いで「製品ごと転落・転倒」6 人、「はさまった」「バランスを崩した」「製品の破損・不具合」がそれぞれ 2 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」で 2 人となっている。

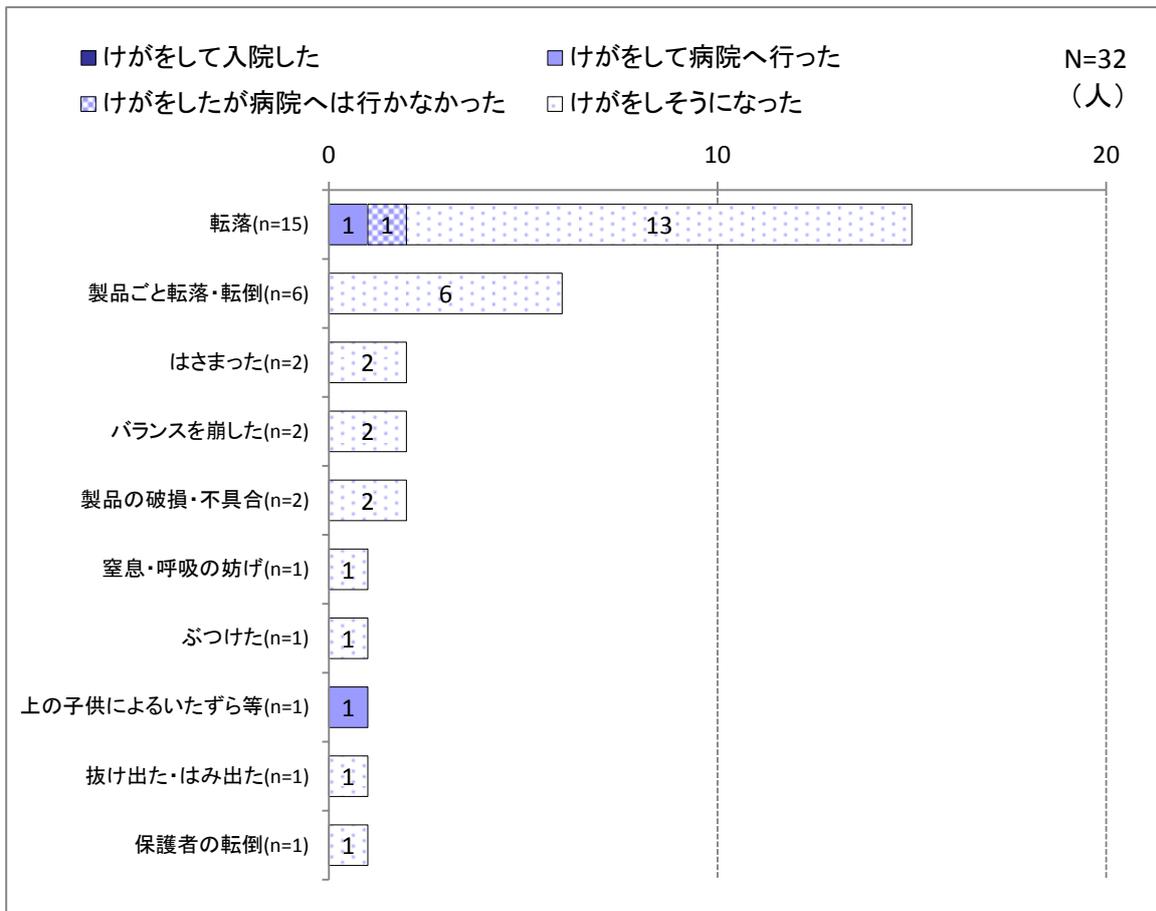


図 5\_3. 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5\_3 は、「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、1歳での事例が最も多く、男の子1歳10人、女の子1歳は6人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子では「転落」と「製品ごと転落・転倒」がそれぞれ5人、女の子では「転落」の10人が最も多い事例となっている。男の子・女の子ともに、「転落」が最も多く発生しているのは1歳となっている。

**表 5\_3. 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

	全体	転落	製品ごと転落・転倒	はさまった	バランスを崩した	製品の破損・不具合	窒息・呼吸の妨げ	ぶつけた	上の子供によるいたずら等	抜け出た・はみ出た	保護者の転倒	
全体	32	15	6	2	2	2	1	1	1	1	1	
子供の性別・年齢	男の子合計	16	5	5	1	1	2	1	-	1	-	
	男の子0歳	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	
	男の子1歳	10	3	3	1	1	1	-	-	1	-	
	男の子2歳	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	男の子3歳	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	男の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女の子合計	16	10	1	1	1	-	-	1	-	1	1
	女の子0歳	3	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女の子1歳	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子2歳	5	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	女の子3歳	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	女の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### (4) 「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5\_4 は、「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験は移動時における経験者 217 人のうち、19 人であった。事例別に見ると「転落」が 8 人と最も多く、次いで「窒息・呼吸の妨げ」「バランスを崩した」「抜け出た・はみ出た」「引っかかった・絡まった」がそれぞれ 2 人と続く。

“危害経験がある”との回答は見られず、全ての回答が「けがをしそうになった」となっている。

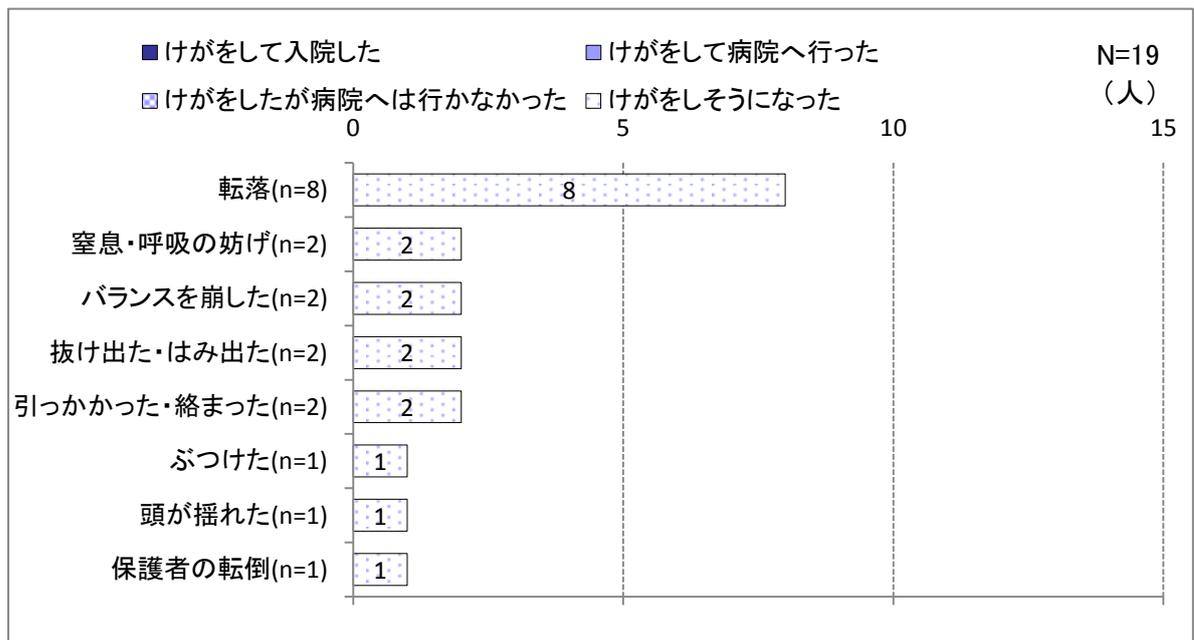


図 5\_4. 「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5\_4 は、「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、0歳での事例が多く、男の子0歳は10人、女の子0歳は3人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「転落」が最も多く、それぞれ4人となっている。男の子・女の子ともに、「転落」が最も多いのは0歳となっている。

**表 5\_4. 「抱っこひも」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	転 落	窒息・呼吸の妨げ	バランスを崩した	抜け出た・はみ出た	引つかかった・絡まった	ぶつけた	頭が揺れた	保護者の転倒
全 体		19	8	2	2	2	2	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	12	4	2	2	2	1	1	-	-
	男の子0歳	10	4	1	2	2	1	-	-	-
	男の子1歳	2	-	1	-	-	-	1	-	-
	男の子2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子3歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	7	4	-	-	-	1	-	1	1
	女の子0歳	3	2	-	-	-	-	-	-	1
	女の子1歳	3	1	-	-	-	1	-	1	-
	女の子2歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女の子3歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## (5) 詳細事例

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
1	自転車	転落	男の子4歳	自転車の幼児座席で子供が寝てしまい、ベルトが肩から抜けて子供が落ちそうになった。
2	自転車	転落	男の子4歳	後部座席に乗せているときに、気が付いたら子供が寝ていて体をグラグラとさせていた。そのときシートベルトを着用していなかったため、落ちてしまったらと思うとゾッとした。
3	自転車	バランスを崩した	女の子3歳	妻のこぐ自転車の後ろに子供が座っていたが、途中で寝てしまい体がフラフラし始めた。ベルトで固定していたが、大きく揺れると自転車から頭がはみ出てしまい、車との接触が心配だった。どうすることもできないので、ゆっくりと帰った（私自身は後ろで別の自転車に乗っていた。）。
4	自転車	バランスを崩した	男の子4歳	後部座席で寝てしまい、子供はグラグラ落ちそうになるし、ハンドル取られて自転車も倒れそうになるし、危険だった。
5	自転車	ぶつけた	女の子2歳	背もたれなしの子乗せで子供が寝てしまい、斜めに傾いているのに気づかず、電柱に頭を打った。
6	自転車	ぶつけた	男の子4歳	後ろに子供を乗せていたらとうとう眠って上半身が横向きになり、狭い道路を通行して車に接触しそうになった。
7	自転車	製品ごと転落・転倒	男の子1歳	子供が寝ていたのだから先に荷物を置いてこようと離れたら、風で自転車が倒れて顔を打った。
8	自転車	頭が揺れた	女の子1歳	自転車の幼児座席（前部分）に乗せていた子がコックリコックリ船を漕ぎ始め、あたまや首を自転車にぶつけそうになっていた。
9	自転車	抜け出た・はみ出た	男の子1歳	乗りながら熟睡し、頭が横に飛び出していて、心配だった。
10	自転車	引っかかった・絡まった	男の子2歳	自転車の後ろに乗せている時に、子供が寝てしまい、子供の靴が後輪に巻き込まれた。
11	ベビーカー	転落	女の子2歳	もう2歳なのでベビーカーにベルトをせずに乗せていたら、寝てしまい、下へ落ちてしまった。
12	ベビーカー	製品ごと転落・転倒	女の子1歳	買い物中ベビーカーで寝ていて荷物が重すぎて倒れそうになった。
13	ベビーカー	はさまった	男の子1歳	ベビーカーで寝ているうちに子供の指がベビーカーのベルト部分に挟まっていた。
14	ベビーカー	製品の破損・不具合	男の子1歳	ベビーカーで寝ているとき、ブレーキロックが片方外れぐるんと回って車道に出た。
15	ベビーカー	窒息・呼吸の妨げ	男の子2歳	ベビーカーで子供が寝ているときに、ベルトが首に巻き付いて苦しそうにして泣き出すことがあった。
16	ベビーカー	上の子供によるいたずら等	男の子1歳	下の子がベビーカーで寝ていて上の子がベビーカーを倒してしまい、下の子のおでこがブロックの角に激突しおでこを縫う怪我させてしまった。

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
17	抱っこひも	転落	男の子0歳	寝ている子供を抱っこひもで抱いているとき、落ちたものを前かがみで取ろうとしたら、子供が抱っこひもから落ちそうになってしまった。
18	抱っこひも	窒息・呼吸の妨げ	男の子0歳	抱っこひもで寝ているときに顔を埋めすぎて窒息しそうになった。
19	抱っこひも	バランスを崩した	男の子0歳	寝たときに首が後ろに下がって、不安定になった。
20	抱っこひも	保護者の転倒	女の子0歳	抱っこひもで散歩中に子供が寝ていて、自分が雪で足を滑らせて転んだ。
21	おんぶひも	ぶつけた	男の子0歳	おんぶしているときに寝てしまい、子供の体が横になっていて、自分の幅よりも出ていることに気づかずエレベーターに乗ろうとしたときに、子供の頭が壁面にぶつかった。
22	おんぶひも	ぶつけた	男の子2歳	背中では寝ているときに首が曲がって横にはみ出していて、電柱にぶつかりそうになった。
23	チャイルドシート	頭が揺れた	男の子4歳	眠っているときにブレーキなどで首がガクンと前に倒れそうになった。
24	チャイルドシート	窒息・呼吸の妨げ	女の子2歳	シートベルトから上半身だけ抜け出し、その後眠った為、ベルトが首に引っかかりそうになった。
25	チャイルドシート	誤飲	女の子2歳	車で子供をチャイルドシートに座らせていたが、子供がおかしを食べながら寝てしまい、飴が喉に入っていたので口の中に手を入れて取り出した。
26	チャイルドシート	嘔吐	男の子1歳	チャイルドシートに乗せて車に乗っている時に、寝ていたが吐き戻した。
27	抱っこ中	抱っこ中に落としてしまった	男の子2歳	子供がチャイルドシートにいるのを嫌がりぐずったので、後部座席で母親が膝の上に抱っこしていたら母子ともにいつの間にか寝てしまい、強くブレーキを掛けた時に落ちそうだった。
28	ヘルメット	窒息・呼吸の妨げ	女の子2歳	自転車で走っている際に後ろで寝てしまい、ヘルメットがずれて顔をふさぎ首に絡まりそうになった。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

## 6. 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験

### (1) 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)

図 6\_1 は外出先の危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、その原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は3,000人中291人(9.7%)であった。製品・場所別で見ると、「おむつ交換台」が146人(50.2%)と最も多く、次いで、「ショッピングカート」83人(28.5%)、「ソファ(外出先)」が17人(5.8%)と続く。

“危害経験がある”との回答は、「おむつ交換台」が14人と最も多く、次いで「ショッピングカート」4人と続く。

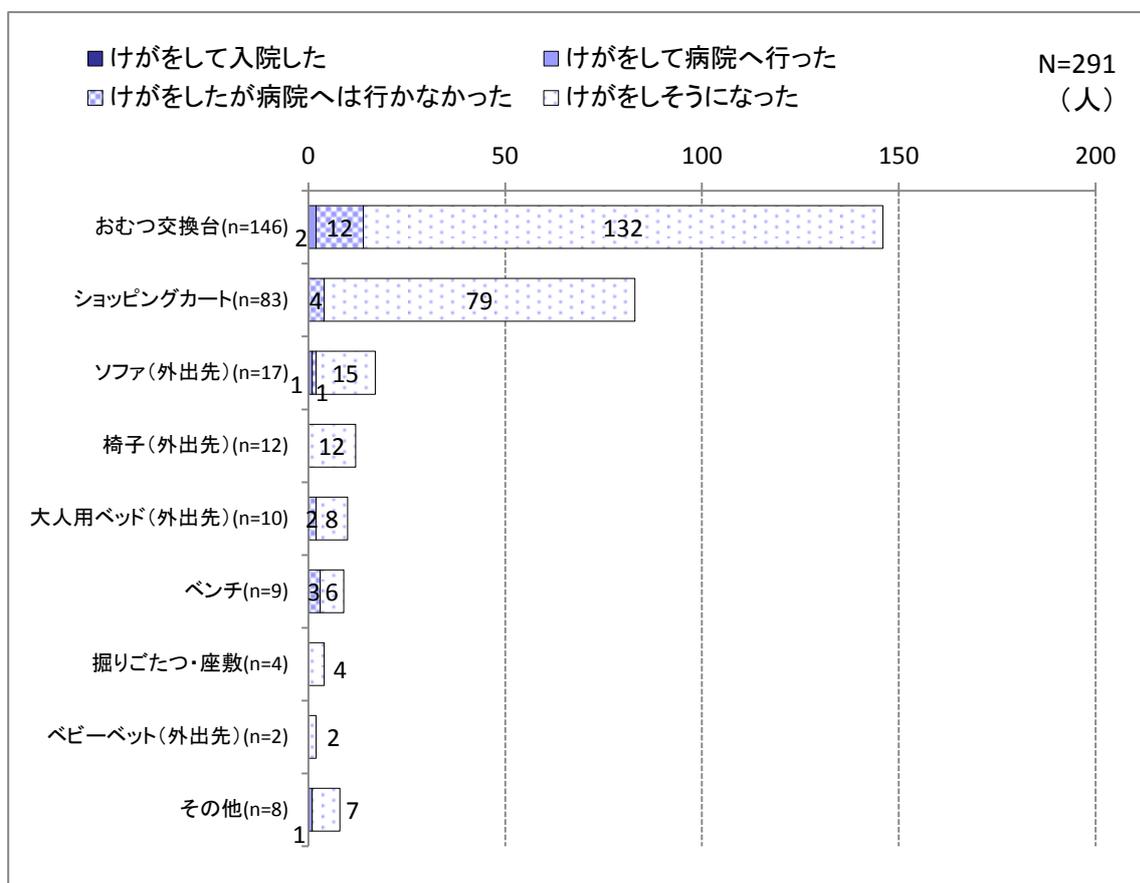


図 6\_1. 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品等別)

表 6\_1\_1 は外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品等別に経験者数をまとめた結果である。

外出先では経験者数 291 人のうち「転落」の事例が 226 人 (77.7%) と最も多く、次いで「ぶつけた」が 39 人 (13.4%)、「はさまった」8 人 (2.7%) と続く。

各事例別に見ると、「転落」に関わる製品・場所としては「おむつ交換台」が 133 人と最も多い。「ぶつけた」では「ショッピングカート」が 34 人と、最も多くなっている。

表 6\_1\_1. 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験 (事例×製品等別)

(人)

	全体	転落	ぶつけた	はさまった	はみ出た 抜け出た・	立ち上がった	ぶつけられた等 踏まれた・	降りようとした	その他
全 体	291	226	39	8	3	3	2	2	8
おむつ交換台	146	133	3	2	2	3	-	2	1
ショッピングカート	83	37	34	5	1	-	-	-	6
ソファ (外出先)	17	17	-	-	-	-	-	-	-
椅子 (外出先)	12	12	-	-	-	-	-	-	-
大人用ベッド (外出先)	10	9	-	1	-	-	-	-	-
ベンチ	9	9	-	-	-	-	-	-	-
掘りごたつ・座敷	4	4	-	-	-	-	-	-	-
ベビーベット (外出先)	2	2	-	-	-	-	-	-	-
その他	8	3	2	-	-	-	2	-	1

表 6\_1\_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品等を比較した結果である。全体として、男の子の事例が 161 人と、女の子の 130 人と比べ、多くなっている。

製品別に見ていくと、「おむつ交換台」は男の子が 71 人、女の子が 75 人となっており最も多くなっている。年齢別に見てみると、男の子・女の子ともに 0 歳～3 歳が多く、中でも 1 歳が最も多くなっている。

**表 6\_1\_2. 外出先での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(製品等×子供の性・年齢別)**

(人)

		全体	おむつ交換台	ショッピングカート	ソファ (外出先)	椅子 (外出先)	大人用ベッド (外出先)	ベンチ	掘りごたつ・座敷	ベビーベッド (外出先)	その他
全 体		291	146	83	17	12	10	9	4	2	8
子供の性別・年齢	男の子合計	161	71	51	14	7	4	5	2	1	6
	男の子 0 歳	43	27	1	7	3	-	1	-	-	4
	男の子 1 歳	62	34	16	4	2	3	1	1	-	1
	男の子 2 歳	38	10	23	2	1	-	1	1	-	-
	男の子 3 歳	14	-	9	1	1	1	2	-	-	-
	男の子 4 歳	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	男の子 5 歳	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男の子 6 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	130	75	32	3	5	6	4	2	1	2
	女の子 0 歳	38	29	3	1	2	1	1	1	-	-
	女の子 1 歳	52	33	11	2	-	3	1	1	1	-
	女の子 2 歳	33	13	16	-	3	-	-	-	-	1
	女の子 3 歳	4	-	1	-	-	-	2	-	-	1
	女の子 4 歳	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女の子 5 歳	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-
女の子 6 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6\_2 は、「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験は外出先における経験者 291 人のうち、146 人であった。事例別に見ると「転落」が 133 人と最も多く、次いで「ぶつけた」3 人、「立ち上がった」3 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」で 11 人、「ぶつけた」では 2 人となっている。

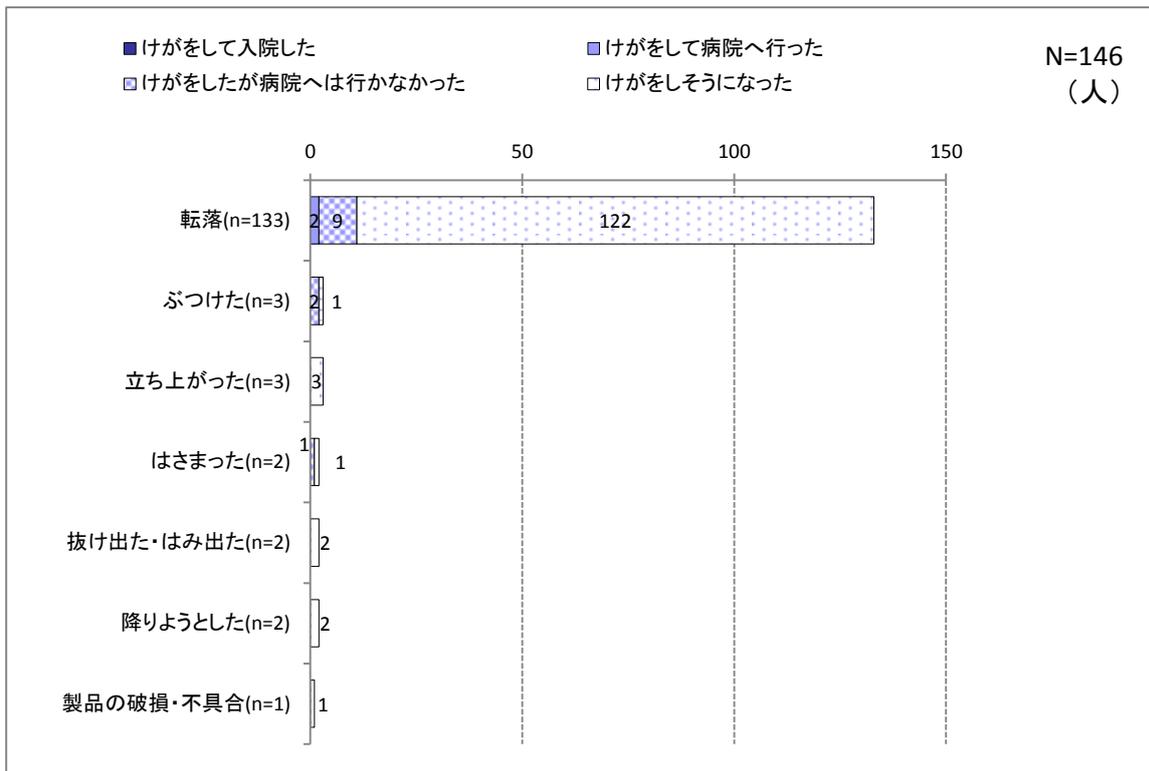


図 6\_2. 「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 6\_2 は、「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、事例があったのは0歳～2歳で、特に0歳・1歳の事例が多くなっている。男の子0歳・1歳では61人、女の子0歳・1歳は62人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子・女の子ともに「転落」が最も多く、それぞれ男の子は66人、女の子は67人となっている。

**表 6\_2. 「おむつ交換台」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	転 落	ぶ つ け た	立 ち 上 が つ た	は さ ま つ た	抜 け 出 た ・ は み 出 た	降 り よ う と し た	製 品 の 破 損 ・ 不 具 合
全 体		146	133	3	3	2	2	2	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	71	66	1	1	1	2	-	-
	男の子0歳	27	26	-	1	-	-	-	-
	男の子1歳	34	30	1	-	1	2	-	-
	男の子2歳	10	10	-	-	-	-	-	-
	男の子3歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	75	67	2	2	1	-	2	1
	女の子0歳	29	28	-	-	-	-	-	1
	女の子1歳	33	28	1	2	1	-	1	-
	女の子2歳	13	11	1	-	-	-	1	-
	女の子3歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	
女の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6\_3 は、「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験は外出先における経験者 291 人のうち、83 人であった。事例別に見ると「転落」が 37 人と最も多く、次いで「ぶつけた」34 人、「はさまった」5 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「ぶつけた」で 2 人、「転落」では 1 人となっている。

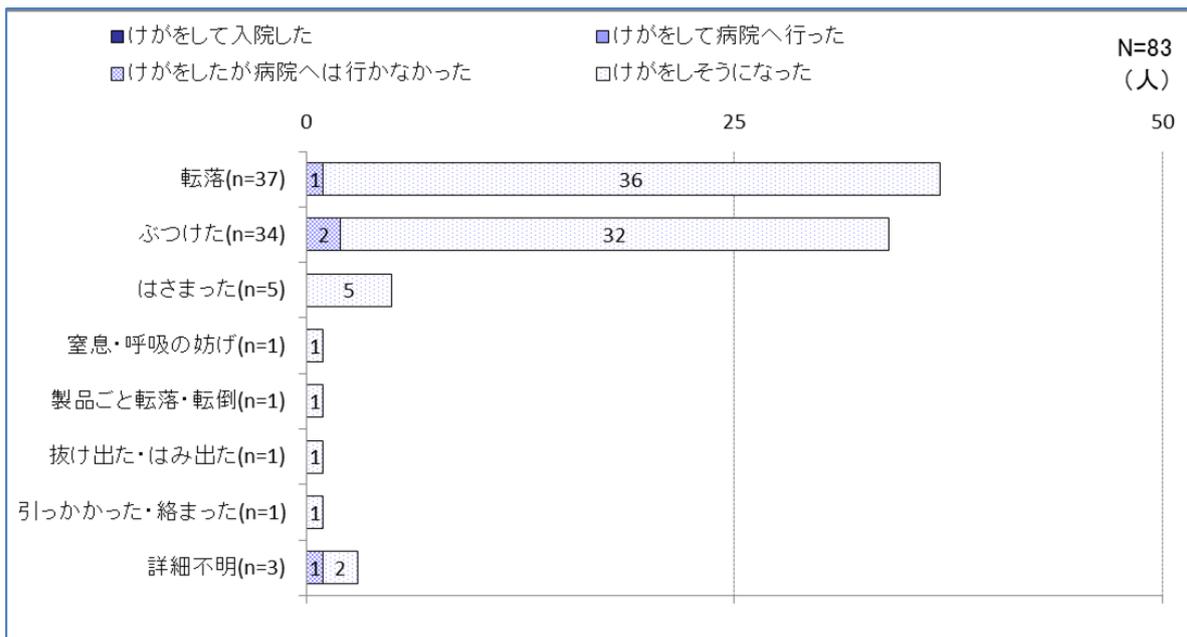


図 6\_3. 「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 6\_3 は、「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男の子・女の子ともに、事例があったのは0歳～5歳で、特に1歳・2歳での事例が多くなっている。男の子1歳・2歳では39人、女の子1歳・2歳は27人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男の子では「転落」が最も多く、25人となっている。また、女の子では「ぶつけた」が最も多く、14人となっている。

**表 6\_3. 「ショッピングカート」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	転 落	ぶ つ け た	は さ ま つ た	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	製 品 ご と 転 落 ・ 転 倒	た 抜 け 出 た ・ は み 出 絡 ま つ た	引 つ か か つ た ・ 絡 ま つ た	詳 細 不 明
全 体		83	37	34	5	1	1	1	1	3
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	51	25	20	2	-	1	1	1	1
	男の子0歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男の子1歳	16	11	3	1	-	1	-	-	-
	男の子2歳	23	8	12	1	-	-	-	1	1
	男の子3歳	9	3	5	-	-	-	1	-	-
	男の子4歳	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	男の子5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	32	12	14	3	1	-	-	-	2
	女の子0歳	3	-	1	1	-	-	-	-	1
	女の子1歳	11	3	7	-	1	-	-	-	-
	女の子2歳	16	9	6	1	-	-	-	-	-
	女の子3歳	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	女の子4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女の子5歳	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
女の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 「ソファー（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6\_4 は、「ソファー（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ソファー（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験は外出先における経験者 291 人のうち、17 人であった。事例はすべて「転落」で、“危害経験がある”との回答は 2 人となっている。

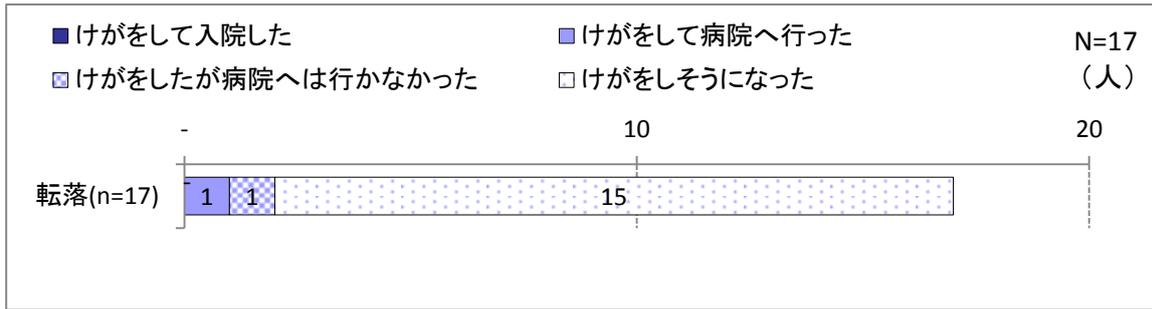


図 6\_4. 「ソファー（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 6\_4 は、「ソファ（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。事例のすべてが「転落」となっており、男の子は 14 人、女の子は 3 人で、男の子の方が多くなっている。年齢別に見ると、男の子は 0 歳が 7 人で最も多く、年齢が上がるにしたがって低くなる傾向が見られる。

**表 6\_4. 「ソファ（外出先）」での危害及びヒヤリ・ハット経験  
（事例×子供の性・年齢別）**

（人）

		全 体	転 落
全 体		17	17
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	14	14
	男の子 0 歳	7	7
	男の子 1 歳	4	4
	男の子 2 歳	2	2
	男の子 3 歳	1	1
	男の子 4 歳	-	-
	男の子 5 歳	-	-
	男の子 6 歳	-	-
	女の子合計	3	3
	女の子 0 歳	1	1
	女の子 1 歳	2	2
	女の子 2 歳	-	-
	女の子 3 歳	-	-
	女の子 4 歳	-	-
女の子 5 歳	-	-	
女の子 6 歳	-	-	

(5) 詳細事例

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
1	おむつ交換台	転落	女の子0歳	おむつ交換台を使用中、子供が寝返りを打って転落してしまった。 バッグに入っていたおむつをとろうと目を離した一瞬のことだった。
2	おむつ交換台	転落	女の子0歳	寝ていたため動かないだろうと思い、ベルトをせずにおむつ換えをし、手を洗っていたら、寝返りを打って落ちそうになった。すぐに気が付いて支えたため、落ちずに済んだ。
3	おむつ交換台	ぶつけた	女の子1歳	おむつ交換台で子供がじっと仰向けに寝ていられずベルトからも抜け出して転落しそうになり、近くにあった棚の端に頭をぶつけてたんこぶができた。
4	おむつ交換台	立ち上がった	男の子0歳	オムツ交換台にのせてオムツ交換をすませ、片付けたりしていたらいつの間にか子供が立っていてビックリした。幸い気づいてすぐやめさせたので怪我はなかった。
5	おむつ交換台	抜け出た・はみ出た	男の子1歳	交換台のベルトで止めていたが、抜け出そうとしていた。
6	おむつ交換台	降りようとした	女の子1歳	台に乗せておむつを出そうとしていたら、降りようとしたので怖かった。
7	おむつ交換台	製品の破損・不具合	女の子0歳	おむつを用意しているタイミングにおむつ台が突然ガタンという音が出て驚いたときです。
8	ショッピングカート	転落	男の子2歳	ショッピングカートの子乗せ部分で寝てしまい、急に頭がガクンとなり上半身が前に倒れた。カートを押している自分がいなかったら、バランスを崩してそのまま前にカートごと倒れていたんじゃないかと思う。
9	ショッピングカート	転落	男の子2歳	スーパーでカートに乗せている時に寝てしまって、バランスを崩して落ちそうになった。
10	ショッピングカート	ぶつけた	女の子1歳	寝てしまい首が想像以上に横に傾いていたため陳列棚に頭をぶつけてしまった。
11	ショッピングカート	ぶつけた	女の子1歳	ショッピングカートに乗せていたら寝てしまい、頭がカクツとなって、カートにおでこをガツンとぶつけました。
12	ショッピングカート	はさまった	女の子0歳	寝ていたもので、買い物カートに座らせようとしたが、足がうまく入っていないことに気づかず、足が思わぬ方向に曲がった子供が起きて大泣きしてしまった。
13	ショッピングカート	はさまった	男の子1歳	買い物カートで寝ている時、カートの中で寝返りをうとうとしたら体が横向きに挟まってしまい、カートから抜け出させるのに苦労した。
14	ショッピングカート	窒息・呼吸の妨げ	女の子1歳	カートに乗ったまま子供が寝てしまい、カートの傘立てにフードの服のひもが絡まって、子供が傾いたときに首が絞まりそうになった。

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
15	ショッピングカート	製品ごと転落・転倒	男の子1歳	下の子が寝ていて、上の子がカートに体重を掛けたら、カートがひっくり返った。
16	ソファ（外出先）	転落	男の子2歳	お昼ご飯を食べながら寝てしまい、レストランのソファに寝ころばせていたら、寝返りを打って落ちそうになり慌てておさえた。
17	椅子（外出先）	転落	男の子3歳	眠っているうちに食事を済まそうと食べていたら、寝返りを打ち落下した。
18	大人用ベッド（外出先）	転落	女の子1歳	ホテルで転落防止の柵を用意してもらったが、寝ている間にベッドと柵の間に落ちてしまい、泣いて気づいた。
19	ベンチ	転落	女の子3歳	駅のベンチに寝かせて電車を待っていた時、寝返りをして転落してしまった。
20	掘りごたつ・座敷	転落	女の子0歳	飲食店のお座敷の部屋で寝かせていた際、寝返りを打って掘りごたつの下に落ちそうになった。
21	抱っこ中	抱っこ中に落としてしまった	女の子3歳	スーパーで買い物中抱っこしていたら寝てしまい、買う物が多かったので子供を落としそうになった。
22	子供用椅子（外出先）	ぶつけた	男の子5歳	食事中目を離していたら、シート上で眠っており、シートのへりに頭を打ってしまった。
23	ベビーカー（外出先）	踏まれた・ぶつけられた等	男の子1歳	公園の芝生でピクニックしていて寝かせていたら、他の幼児に倒されそうになった。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すものの以外はアンケート回答のまま掲載した。

## 7. その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験

### (1) その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験

その他の危害及びヒヤリ・ハット経験については、9人からの回答が得られた。「お風呂」「便器」などに関連し、「溺水」「転落」などの回答が見られた。

**表 7\_1\_1. その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験  
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	溺 水	転 落	ぶ つ け た	転 倒	製 品 に 引 火	埋 も れ た
全 体		9	3	2	1	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	5	2	1	-	1	-	1
	男の子0歳	1	-	-	-	1	-	-
	男の子1歳	1	-	-	-	-	-	1
	男の子2歳	1	-	1	-	-	-	-
	男の子3歳	1	1	-	-	-	-	-
	男の子4歳	-	-	-	-	-	-	-
	男の子5歳	1	1	-	-	-	-	-
	男の子6歳	-	-	-	-	-	-	-
	女の子合計	4	1	1	1	-	1	-
	女の子0歳	2	-	1	-	-	1	-
	女の子1歳	-	-	-	-	-	-	-
	女の子2歳	2	1	-	1	-	-	-
	女の子3歳	-	-	-	-	-	-	-
	女の子4歳	-	-	-	-	-	-	-
	女の子5歳	-	-	-	-	-	-	-
女の子6歳	-	-	-	-	-	-	-	

9人の事例のうち、“危害経験がある”との回答は男の子では0人、女の子で1人となっている。具体的には、「作業台」でオムツ替えをしていて、転落してしまった事例となっている。

**表 7\_1\_2. その他乳幼児の寝ているときの危害及びヒヤリ・ハット経験**  
(けがの程度×子供の性・年齢別)

(人)

	全 体	入 院 し た	け が を し て 病 院 へ 行 っ た	け が を し て 病 院 へ は 行 か な か っ た	け が を し た が な っ た	け が を し そ う に な っ た
全 体	9	-	1	-	-	8
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男の子合計	5	-	-	-	5
	男の子0歳	1	-	-	-	1
	男の子1歳	1	-	-	-	1
	男の子2歳	1	-	-	-	1
	男の子3歳	1	-	-	-	1
	男の子4歳	-	-	-	-	-
	男の子5歳	1	-	-	-	1
	男の子6歳	-	-	-	-	-
	女の子合計	4	-	1	-	3
	女の子0歳	2	-	1	-	1
	女の子1歳	-	-	-	-	-
	女の子2歳	2	-	-	-	2
	女の子3歳	-	-	-	-	-
	女の子4歳	-	-	-	-	-
	女の子5歳	-	-	-	-	-
女の子6歳	-	-	-	-	-	

(2) 詳細事例

No.	製品・場所等	事例	性別・年齢	内容
1	お風呂	溺水	男の子3歳	私が洗髪をしている時に子供が一人で湯船に浸かっていたら眠くなってしまったようで溺れそうになった。
2	お風呂	溺水	男の子5歳	お風呂で寝てしまい、おぼれそうになった。
3	便器	ぶつけた	女の子2歳	トイレに座った状態で寝てしまい、体勢を崩した時に床に頭をぶつけそうになった。
4	ハイローチェア等 (その他)	製品に引火	女の子0歳	脱衣場で待たせるのにヒーターをつけてハイローチェアに寝かせておいたらヒーターに近づき過ぎていてハイローチェアが溶けていた。
5	作業台	転落	女の子0歳	オムツを替えるのに作業台の上に寝かせてふとした瞬間に作業台から落ちた。結構高いところから落ちたのですぐに病院に行った。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

### Ⅲ. まとめ

---

東京都では、平成 21 年度から乳幼児やシニア世代を中心としたヒヤリ・ハット調査を行い、事故防止ガイド等を通じて消費者への注意喚起を行っているが、今回は乳幼児を対象とした家庭内における寝ているときに関する製品等について、詳細なヒヤリ・ハット経験等の事例収集を主な目的としたアンケート調査を実施した。

「不慮の事故」は、乳幼児における死因の上位を占めるものであり、特に乳児においては家庭内で発生するという痛ましいものが多い。子供の行動は予想がつかず全てを防ぐことは不可能であるが、最小限の危害に食い止めるために、子供が居る環境においては、今回の調査結果と同様な事例が自分の周りでも起こり得るということを意識して、住宅や施設内で危険を回避するための注意・工夫を施していただきたい。

また、製品を提供する事業者等は、危害及びヒヤリ・ハットの事例や保護者等の要望を注視し、乳幼児の安全及び事故防止に十分留意した上で製品開発を行っていただきたい。家庭内の製品における利便性、デザイン性が高まった現在、安全性への配慮も製品の高付加価値に繋がるという意識を持って製品開発を行っていただきたい。

#### 【調査結果の活用】

- (1) 危害及びヒヤリ・ハット経験の事例、注意のポイントをまとめ、事故防止ガイド（ヒヤリ・ハットレポート）を作成、配布し、消費者への情報提供を行うとともに、消費者教育のための資料として活用し、乳幼児の事故の拡大防止・未然防止を図る。
- (2) 収集したヒヤリ・ハット経験等から、必要に応じて製品等の技術的な安全性に焦点を当てた事故防止のためのさらなる調査を実施する。
- (3) 国、自治体及び関係事業者団体等へ調査結果を情報提供する。

## IV. アンケート調査票

<p>Q1. あなたの居住地を教えてください。</p> <p><input type="text" value="選択してください"/></p>
<p>Q2. あなたの性別をお答えください。</p> <p><input type="radio"/> 1. 男性 <input type="radio"/> 2. 女性</p>
<p>Q3. あなたの年齢をお答えください。</p> <p><input type="text"/> 歳</p>
<p>Q4. あなたと同居しているお子さんの人数を教えてください。</p> <p>※同居しているお子さんが、あなたの兄弟姉妹の関係にあたる場合は、そのお子さんを除いた人数をご回答ください。</p> <p><input type="radio"/> 0人 <input type="radio"/> 1人 <input type="radio"/> 2人 <input type="radio"/> 3人 <input type="radio"/> 4人以上</p> <p>■Q4で、同居しているお子さんが「1人以上」とお答えの方にお伺いします。</p> <p>Q5. あなたと同居しているすべてのお子さんの性別・年齢を教えてください。複数選択可</p> <p>※Q4と同様、同居しているお子さんが、あなたの兄弟姉妹の関係にあたる場合は、そのお子さんを除いてご回答ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 男の子6ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 男の子6ヶ月以上1歳未満 <input type="checkbox"/> 男の子1歳 <input type="checkbox"/> 男の子2歳 <input type="checkbox"/> 男の子3歳 <input type="checkbox"/> 男の子4歳 <input type="checkbox"/> 男の子5歳 <input type="checkbox"/> 男の子小学校入学前で6歳 <input type="checkbox"/> 男の子小学生以上</p> <p><input type="checkbox"/> 女の子6ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 女の子6ヶ月以上1歳未満 <input type="checkbox"/> 女の子1歳 <input type="checkbox"/> 女の子2歳 <input type="checkbox"/> 女の子3歳 <input type="checkbox"/> 女の子4歳 <input type="checkbox"/> 女の子5歳 <input type="checkbox"/> 女の子小学校入学前で6歳 <input type="checkbox"/> 女の子小学生以上</p>
<p>ここからは、家庭内における「子供の寝ているとき」に関する危害及びヒヤリ・ハット経験を伺います。</p> <p>■家庭内における「子供の寝ているとき」に関する危害及びヒヤリ・ハット経験を教えてください。 あなたと同居しているお子さんが乳幼児(0歳から小学校入学前)の時にについて伺います。</p> <p>※乳幼児(小学校入学前まで)のときの経験をお答えください。 ※現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。</p>

Q6. 同居しているお子さんが、家庭内で寝ているとき、またはベッドや寝具等で、けがをしたり、しそようになった経験はありますか。

※「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含まれます。

なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

【参考事例】ベッド・ソファ・おむつ交換台等からの転落、枕等で息が苦しくなった、ぬいぐるみが顔にかかっていた、肌掛け等が顔にかかっていた、暖房器具等による体調不良、自転車に乗っていたときに危なかったこと等のほか、起きているときでもベッド・布団等寝るときに関する製品使用時にヒヤリとしたこと等も含む。

■けがをしたり、しそようになった経験は以下の4つの場面についてお答えください。

### 1) 家庭内のベッド回り・布団回り・寝具

(例) ベビーベッド、大人用ベッド、布団、タオル、枕、ぬいぐるみ、寝間着等の衣服、スリーパー、メリー…ほか



### 2) リビング等の居室

(例) ソファ、パウンサー、ハイ&ローチェア、座布団、床、敷物、暖房器具…ほか



3) 移動時

(例) 抱っこひも、おんぶひも、ベビーカー、自転車、車中…ほか



4) 外出先(保育園、幼稚園等を除く)

(例) おむつ交換台、椅子、椅子付きのショッピングカート…ほか



	けが(やけど、顔軟、窒息等による体調不良を含む)をしたり、しそうな経験がある	けが(やけど、顔軟、窒息等による体調不良を含む)をしたり、しそうな経験はない
1) 家庭内のベッド回り・布団回り・寝具	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) リビング等の居室	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 移動時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 外出先 (保育園、幼稚園等を除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	けが(やけど、顔軟、窒息等による体調不良を含む)をしたり、しそうな経験がある	けが(やけど、顔軟、窒息等による体調不良を含む)をしたり、しそうな経験はない
5) 上記以外で家庭内における寝ているときに関する製品、場所等 (保育園、幼稚園等を除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■同居しているお子さんがご家庭内でのベッド回り・布団回り・寝具等で「けがをした、しそうなった」経験について教えてください。

※「けが」とは：けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含まれます。



※複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。  
なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

・乳幼児(小学校入学前まで)のときの経験を記入してください。  
・現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。

Q7. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q8. その経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品名称：ベビーベッド  
柵を半分下ろしたままの状態でお子さんをベビーベッドに寝かせていたら、いつの間にか子供が立ち上がって柵を乗り越えようとしていた。まさかつかまり立ちをすとは思わなかった。

【記入例2】製品名称：枕  
まだ寝返りが打てなかった時期に寝かせていたら、頭がずれて枕が顔にかかって呼吸が苦しそうになっていた。

製品名称

具体的な経験の内容

Q9. その時のお子さんの性別・年齢を教えてください。

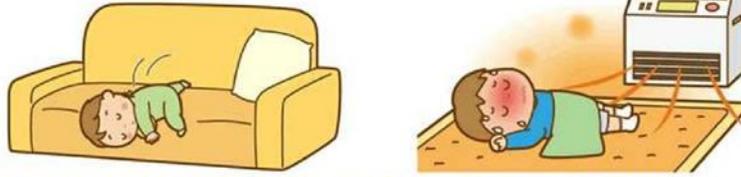
※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男の子0歳
- 男の子1歳
- 男の子2歳
- 男の子3歳
- 男の子4歳
- 男の子5歳
- 男の子6歳

- 女の子0歳
- 女の子1歳
- 女の子2歳
- 女の子3歳
- 女の子4歳
- 女の子5歳
- 女の子6歳

■同居しているおさんをご家庭内でのリビング等の居室で寝ているときに「けがをした、しそうなった」経験について教えてください。

※「けが」とは：けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



※複数のおさんにそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。

なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

・乳幼児(小学校入学前まで)のときの経験を記入してください。

・現在、小学生以上のおさんが乳幼児のときの経験でもかまいません。

Q10. その経験でのおさんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうなった

Q11. その経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。

【記入例】製品名称：ソファー

洗濯物を取り込もうと思って、子供をソファーに寝かせてその場を離れたら、大きな泣き声が聞こえた。慌てて戻ったら、子供がソファーから落ちていて、すぐに病院に連れて行った。まだ寝返りが打てないと思って油断していた。

製品名称

具体的な経験の内容

Q12. その時のおさんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男の子0歳
- 男の子1歳
- 男の子2歳
- 男の子3歳
- 男の子4歳
- 男の子5歳
- 男の子6歳

- 女の子0歳
- 女の子1歳
- 女の子2歳
- 女の子3歳
- 女の子4歳
- 女の子5歳
- 女の子6歳

■抱っこひも着用中やベビーカー、また、乗り物での移動中にお子さんが寝ていて「けがをした、しそうなった」経験について教えてください。

※「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



※複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。

なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

・乳幼児(小学校入学前まで)のときの経験を記入してください。

・現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。

Q13. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q14. その経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。

【記入例】製品名称：自転車

自転車の後ろに乗せているとき、子供が寝てしまい、身体が傾くと同時に自転車も倒れそうになり、危うく自動車にぶつかる所だった。

製品名称

具体的な経験の内容

Q15. その時のお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男の子0歳
- 男の子1歳
- 男の子2歳
- 男の子3歳
- 男の子4歳
- 男の子5歳
- 男の子6歳

- 女の子0歳
- 女の子1歳
- 女の子2歳
- 女の子3歳
- 女の子4歳
- 女の子5歳
- 女の子6歳

■同居しているお子さんが外出先で寝ているときに「けがをした、しそようになった」経験について教えてください。  
※「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



※複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。

なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

- ・乳幼児（小学校入学前まで）のときの経験を記入してください。
- ・現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。

Q16. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそようになった

Q17. その経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。

【記入例】製品名称：おむつ交換台

外出先でおむつを替えようと思っておむつ交換台で寝かせて、すぐ近くの自動販売機に行ったほんの少しの間に子供が転落してしまいました。

製品名称

具体的な経験の内容

Q18. その時のお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男の子0歳
- 男の子1歳
- 男の子2歳
- 男の子3歳
- 男の子4歳
- 男の子5歳
- 男の子6歳

- 女の子0歳
- 女の子1歳
- 女の子2歳
- 女の子3歳
- 女の子4歳
- 女の子5歳
- 女の子6歳

■同居しているお子さんがご家庭内の寝室やリビングなどの居室以外での場所、製品等で寝ていて「けがをした、しそになった」経験について教えてください。

※「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。

※複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。

なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

・乳幼児(小学校入学前まで)のときの経験を記入してください。

・現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。

Q19. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそになった

Q20. その経験の詳細を教えてください。

製品名称

具体的な経験の内容

Q21. その時のお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男の子0歳
- 男の子1歳
- 男の子2歳
- 男の子3歳
- 男の子4歳
- 男の子5歳
- 男の子6歳

- 女の子0歳
- 女の子1歳
- 女の子2歳
- 女の子3歳
- 女の子4歳
- 女の子5歳
- 女の子6歳